# 6　こんなときは

## 6.1　ログイン画面が表示されないとき

システムにアクセスしたときに、ログイン画面が表示されない場合は、トップページが表示されます。
その場合は、「利用者管理システム – ログイン」を押すと、ログイン画面が表示されます。

システムにアクセスしたときに、ログイン画面を自動表示したい場合は、Web ブラウザの設定でポップアップを許可してください。設定方法については、Web ブラウザのヘルプを参照してください。

# 6.2　パスワードを変更したいとき

事前に登録された管理責任者または統括管理責任のパスワードを変更します。

**ご注意**

- ユーザーID、パスワードは、個人を特定する重要な情報です。他者との共有や他者への貸出しを行わないでください。
- パスワード漏洩のリスクを減らすため、パスワードのメモを作成しないでください。また、使用する端末にパスワードを記憶させないでください。
- パスワード漏洩のおそれがある場合には、パスワードを変更してください。

## 6.　メニューの「パスワード変更」を押す

《パスワード変更》画面が表示されます。

# 7. パスワードを入力する

① 「現在のパスワード」に現在のパスワードを入力します。

② 「新しいパスワード」に新たに決めたパスワードを入力します。

③ 「新しいパスワード（確認）」に②で入力したパスワードと同じパスワードを入力します。

**ご注意**

パスワードは、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- 以下の 3 種類を、それぞれ 1 文字以上使用すること
  半角英字：A～Z、a～z
  半角数字：0～9
  半角記号：「-」「_」「.」「@」
  例）Abc@92_i
- 8 文字以上 20 文字以下で、ユーザーID と異なる文字列であること
- 現在使用中のパスワードと異なる文字列であること

## 8.　「変更」を押す

《パスワード変更完了》画面が表示されます。

以上で、パスワードの変更の操作は完了です。次回からは、設定した新しいパスワードでログインしてください。

# 6.3　利用者がパスワードを忘れたとき

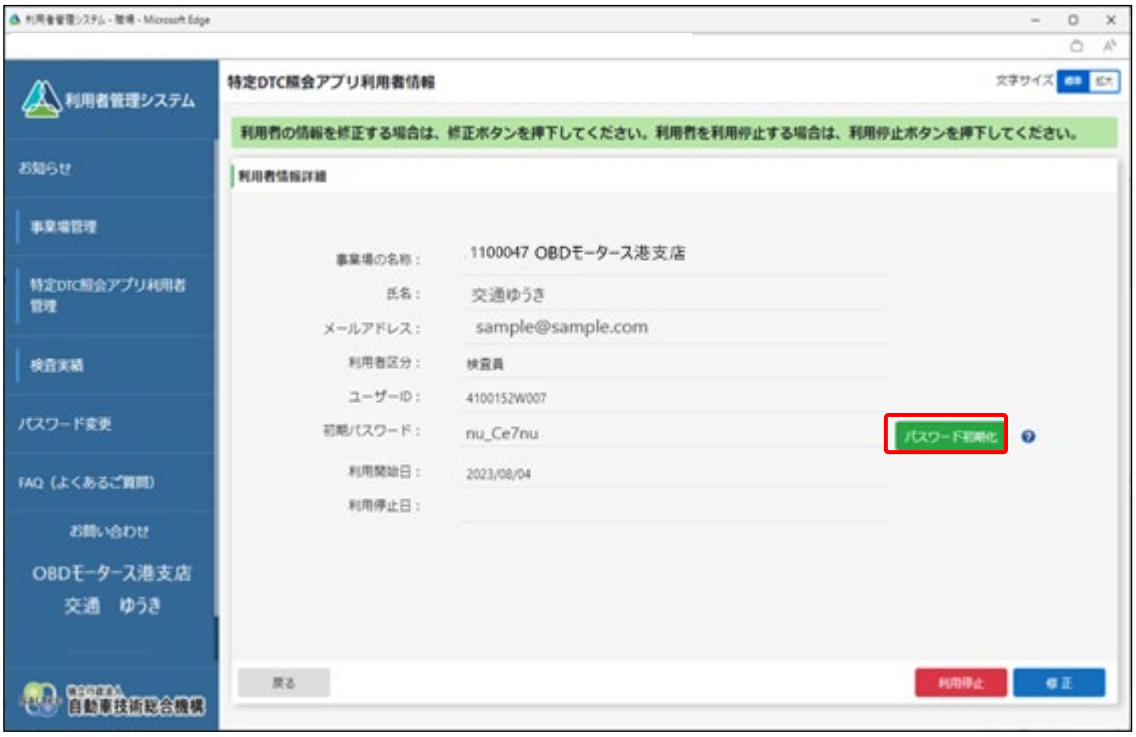
管理責任者と統括管理責任者は、利用者からパスワードの変更を依頼されたときなどに、パスワードを初期化できます。状況によって対応が異なりますので、以下の内容を確認のうえ、対応してください。

## ■初回ログイン済みでパスワードを初期化したい場合

特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムの初期パスワードが変更されている場合は、《利用者情報詳細》画面または《利用者情報修正》画面の「初期パスワード」に「**********（利用者により変更済み）」と表示されます。この場合は、「パスワード初期化」を押すと、選択している利用者のパスワードを初期化できます。

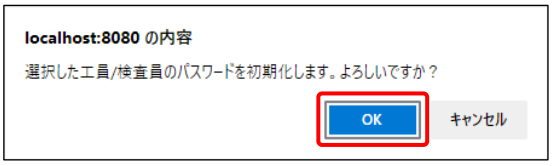
### 1.　《利用者情報詳細》画面で「パスワード初期化」を押す

《利用者情報詳細》画面／《利用者情報修正》画面の表示方法については、「4.3 登録されている利用者を確認する」および「5.5 登録されている利用者を確認する」を参照してください。




確認画面が表示されます。

### 2.　「OK」を押す




特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムのパスワードが初期化されます。

### 3. 初期化したパスワードを利用者に通知する

「4.3 登録されている利用者を確認する」または 「5.5 登録されている利用者を確認する」を参照し、初期化したパスワードを確認のうえ利用者に通知してください。

## ■初期パスワードの有効期限切れにより、パスワードを初期化したい場合

### 1. 《利用者情報詳細》画面で「修正」を押す

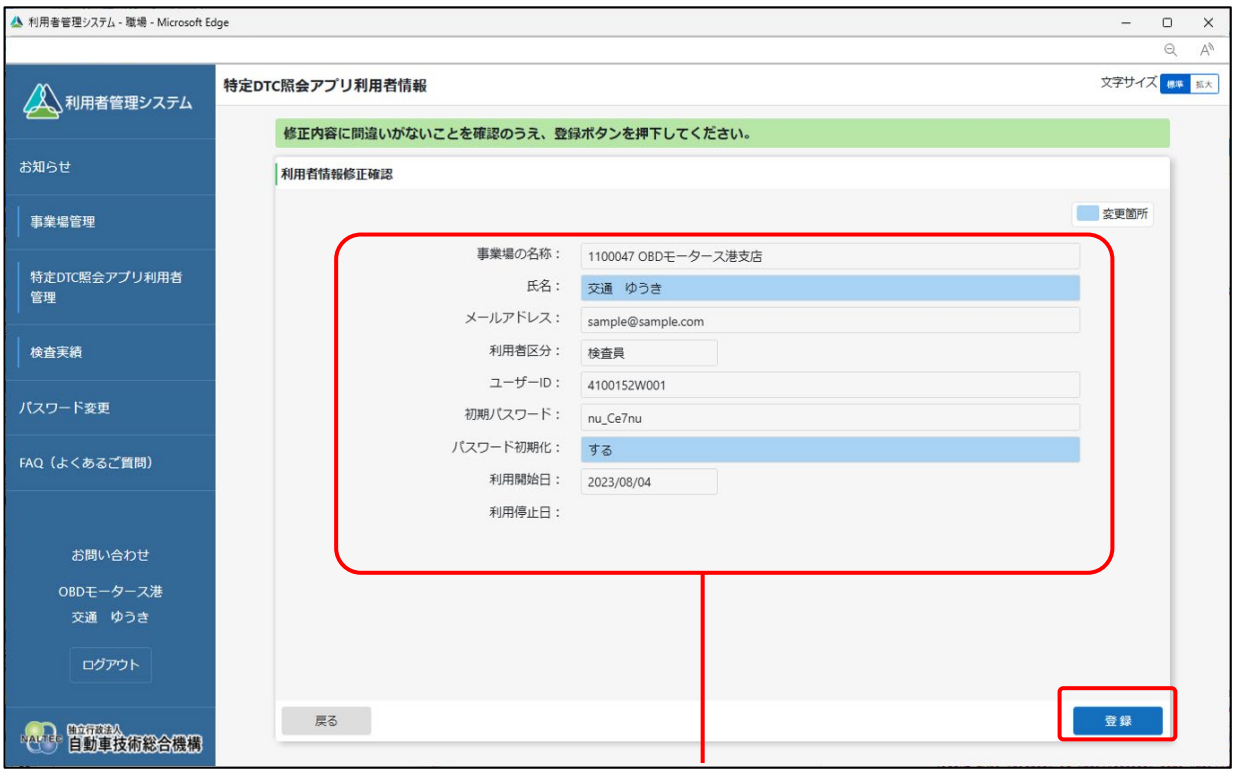
## 2. 「パスワード初期化」の項目で「する」を選択し、「確認」を押す

《利用者情報修正確認》画面が表示されます。

**メモ**

初期パスワードの有効期限が切れている場合は、「パスワード初期化」の項目で「する」を選択したのち、「利用開始日」を選択してください。

## 3. 変更内容を確認し、「登録」を押す




変更した箇所は青色で表示されています。

## 4. 初期化したパスワードを利用者に通知する

初期化したパスワードを確認のうえ、利用者に通知してください。

以上で、特定 DTC 照会アプリおよび OBD 検査結果参照システムのパスワードの初期化は完了です。

# 6.4　個別の事業場からグループの管理者になるとき

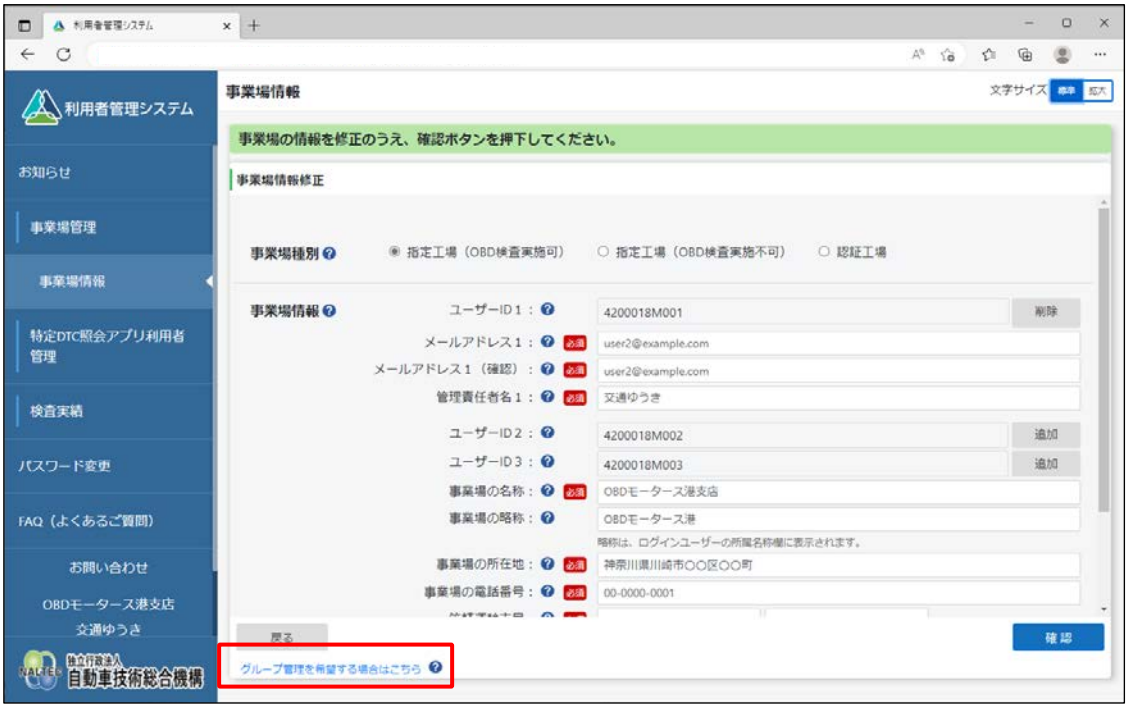
複数の事業場をグループ化して統括管理したい場合や、個別の事業場を管理している管理責任者を、グループを管理する統括管理責任者へ変更する時は、«事業場情報修正画面»で修正できます。事業場情報の変更申請中も各システムを利用することができます。

**ご注意**

- 以下の項目を変更する場合は、指定書/認証書の写しの添付が必要です。また、グループに所属している事業場の管理責任者にあっては管理権限が必要です。
  - ・事業場種別
  - ・管轄運輸支局
  - ・指定番号／認証番号
- これらの項目の変更については、運用管理センターで確認が行われるため、反映に時間を要します。

## 1.　《事業場情報修正》画面で「グループ管理を希望する場合はこちら」を押す

《事業場情報修正》画面の表示方法については、「4.1 事業場情報を確認・変更する」または「5.1 事業場情報を確認・変更する」を参照してください。




「グループ管理者情報」と「管理対象事業場一覧」が表示されます。

## 2. グループ管理者情報と事業場情報を入力する

例えば、以下のような変更が可能です。

### 事業場の管理責任者からグループの統括管理責任者に変更する場合

「グループ管理者情報」に管理責任者の情報を入力します。手順 **3.** の管理対象の追加は行いません。

### 事業場の管理責任者が新たにグループを作成する場合

「グループ管理者情報」に管理責任者の情報を入力します。手順 **3.** で管理対象の追加を行います。

**グループ管理者情報**

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| ユーザーID 1～3 | 統括管理責任者のユーザーID が表示されます。 |
| メールアドレス 1～3／メールアドレス 1～3（再） | 統括管理責任者または事業場内の各種申請状況の通知等が受け取れるメールアドレスを入力します。 |
| 統括管理責任者名 1～3 | 複数の事業場をグループで統括して管理する責任者の氏名を入力します。必ずしも法令上の管理者（事業場管理責任者や整備主任者等）である必要はありません。 |
| グループ管理者の名称 | 統括管理責任者が所属する組織の名称を入力します。 |
| グループ管理者の所在地 | 統括管理責任者が所属する組織の所在地を入力します。 |
| グループ管理者の電話番号 | 統括管理責任者が所属する組織の電話番号を入力します。 |

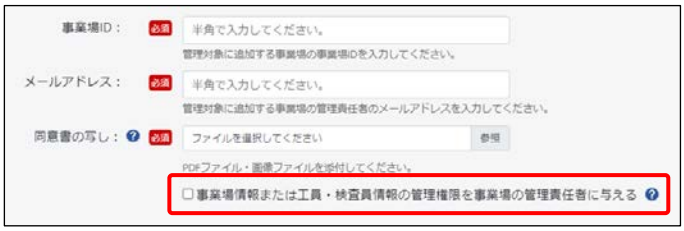
**事業場情報**

グループを統括管理する拠点（本社）が指定工場または認証工場である場合のみ、表示されます。

「*」が付いた項目は、反映に時間を要する項目です。

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| メールアドレス | 管理責任者または事業場内の各種申請状況の通知等が受け取れるメールアドレスを入力します。 |
| 管理責任者名 | 事業場内の OBD 検査システムの利用者を管理する責任者の氏名を入力します。必ずしも法令上の管理者（事業場管理責任者や整備主任者等）である必要はありません。また、統括管理責任者と兼任できます。 |
| 事業場の名称 | 所属する事業場の名称を入力します。 |
| 事業場の略称 | 事業場の略称を任意に設定できます。入力した場合は略称の表示がされますが、不要な場合は入力しないでください。<br>設定した略称は、以下で使用されます。<br>・各システムログイン後のメニューのユーザー表示<br>・特定 DTC 照会アプリログイン後のメニューのユーザー表示<br>・実績集計や検査結果参照時の検索欄 |
| 事業場の所在地 | 運輸支局等に届け出ている事業場の所在地を入力します。 |
| 事業場の電話番号 | 複数ある場合は代表番号（管理責任者に繋がるまたは取り次ぐことが可能な番号）を 1 つ入力してください。 |
| 管轄運輸局* | 管轄運輸局・支局を選択します。 |
| 指定番号または認証番号* | 継続検査用 OCR シートに記載する整備工場コードの一連番号と同じものを入力してください。（基本的にはハイフン以降の数字（アルファベットを除く））<br>例）<br>実際の指定番号：関運指第 1-XXXXX 号<br>入力する内容：XXXXX<br>例）<br>実際の認証番号：近運整認大第 XXXXA 号<br>入力する内容：XXXX<br><br>メモ<br>北陸信越運輸局管内、中国運輸局管内は変換が必要となる場合があります。詳細は、「6.13 指定番号または認証番号の入力ルールを確認したいとき」を参照ください。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 指定書または認証書の写し<br>* | 事業場種別を指定工場から認証工場、または認証工場から指定工場に変更した場合に、その変更内容に応じて指定書または認証書の写しが必要になります。なお、指定工場で変更がない場合（指定工場（OBD 検査実施可）と指定工場（OBD 検査実施不可）間の変更）については、書面は不要です。<br>**「指定工場（OBD 検査実施可）」／「指定工場（OBD 検査実施不可）」を選択した場合：**<br>指定書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。紛失等により指定書がない場合は、管轄の運輸支局等で再発行*し、その写しを選択してください。指定書が手元にない場合は、国土交通省発行の証明書（証明願）等でも代用可能です。<br>* 紛失等により指定書がない場合は、管轄の運輸支局等にて指定工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は管轄の運輸支局等に確認してください。<br>**「認証工場」を選択した場合：**<br>認証書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。紛失等により認証書がない場合は、管轄の運輸支局等で再発行*し、その写しを選択してください。認証書が手元にない場合は、国土交通省発行の証明書（証明願）等でも代用可能です。<br>* 紛失等により認証書がない場合は、管轄の運輸支局等にて認証工場の証明願または再交付の手続きをしてください。手続きの詳細は管轄の運輸支局等に確認してください。 |
| 同意書の写し | 事業場がグループに所属している場合に、この項目が表示されます。<br>同意書の写しは、スキャナ等で PC（パソコン）に取り込んだうえで「PDF 形式」、「JPEG 形式」、「PNG 形式」のいずれかのファイルを選択します。「参照」を押すとファイルを選択できます。書面の様式は、OBD 検査ポータルに掲載されています。 |

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 事業場情報または工員・検査員情報の管理権限を事業場の管理責任者に与える | 統括管理責任者の場合に表示されます。<br>事業場情報または工員・検査員情報の管理権限を管理責任者に付与する場合はチェックを付けます。<br>  <br>権限が付与された管理責任者は、事業場情報と利用者情報の追加・変更・削除ができるようになります。 |



## 3. グループに事業場を追加する場合は、「管理対象追加」を押す

事業場の追加方法については、「■グループ申請の場合」（P. 46）の手順 6.以降を参照してください。

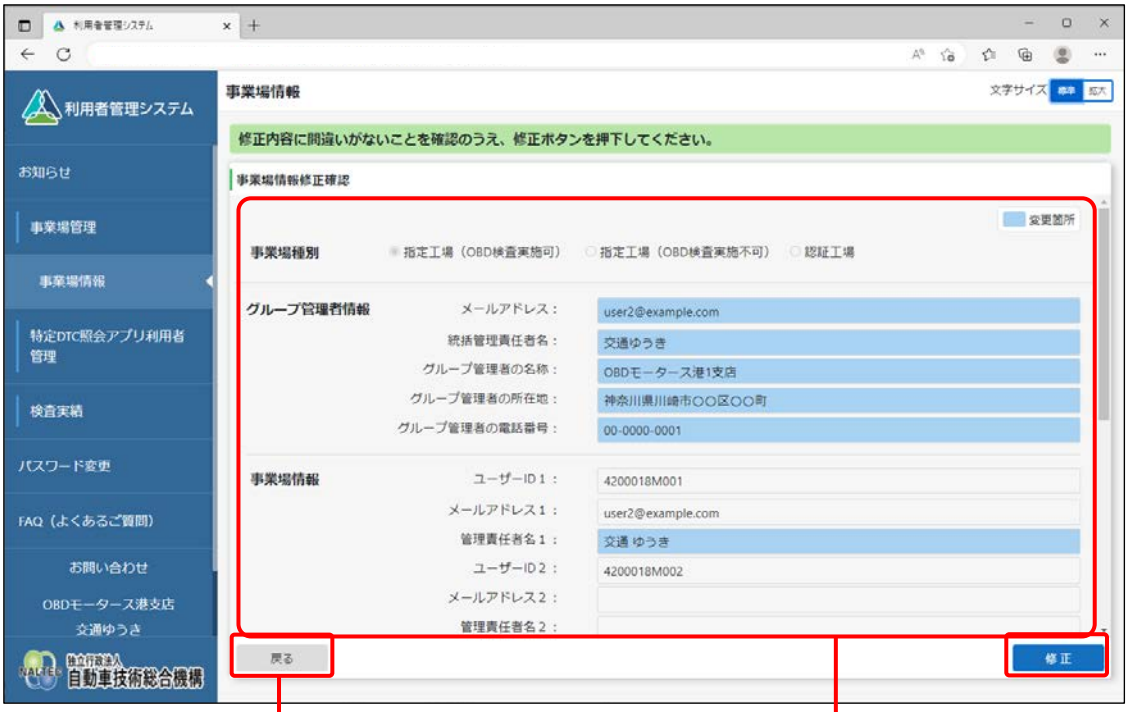
## 4. 「確認」を押す

《メールアドレス確認》画面が表示されます。

## 5. メールアドレスを確認し、「OK」を押す

《事業場情報修正確認》画面が表示されます。

## 6. 修正内容を確認し、「修正」を押す




修正内容が誤っている場合は、「戻る」を押し、手順 **2.** に戻ってグループ管理者情報と事業場情報を修正してください。

変更した箇所は青色で表示されています。

### すぐに反映される項目を変更した場合

《事業場情報修正完了》画面が表示され、管理責任者および統括管理責任者に事業場利用変更申請結果メールが送信されます。

### 反映に時間を要する項目（運用管理センターの確認を要する項目）を変更した場合

反映に時間を要する項目を変更した場合は、事業場の管理責任者および統括管理責任者に、運用管理センターから事業場利用変更申請受付メールが送信されます。

運用管理センターでの確認終了後、事業場利用変更申請結果メールが送信されます。

**ご注意**

確認には、数日程度かかる場合があります。

以上で、統括管理責任者への変更の操作は完了です。

# 6.5　使用する機器を増やしたいとき

本システムの利用者が増えた場合など、使用する検査用スキャンツールの端末（Windows がインストールされた PC またはタブレット）を増やしたいときは、「クライアント証明書用招待コード発行依頼」を行った後、対象の端末にクライアント証明書をインストールします。使用する端末には、1 つの Windows アカウントにつき、1 つのクライアント証明書が必要です。

**メモ**

申請済みのクライアント証明書招待コードの承認結果メールが届く前に発行依頼をすると、以下のメッセージが発生します。承認結果メール到着後に再度操作をしてください。
「エラーコード：ED099　すでに発行依頼済みです。」

## 1. メニューの「特定 DTC 照会アプリ利用者管理」を押し、表示された「クライアント証明書用招待コード発行依頼」を押す

《クライアント証明書用招待コード発行依頼》画面が表示されます。

## 2. 発行依頼する部数を「証明書の必要部数」に入力し、「発行依頼」を押す

発行依頼する部数には、追加したい Windows アカウントの数を入力します。

受付が完了すると、《クライアント証明書用招待コード発行依頼受付完了》画面が表示されます。

クライアント証明書用招待コード発行依頼受付メールが、発行依頼した事業場の管理責任者に送信されます。後日、発行依頼の承認結果が記載されたメールが、発行依頼した事業場の管理責任者に送信されます。

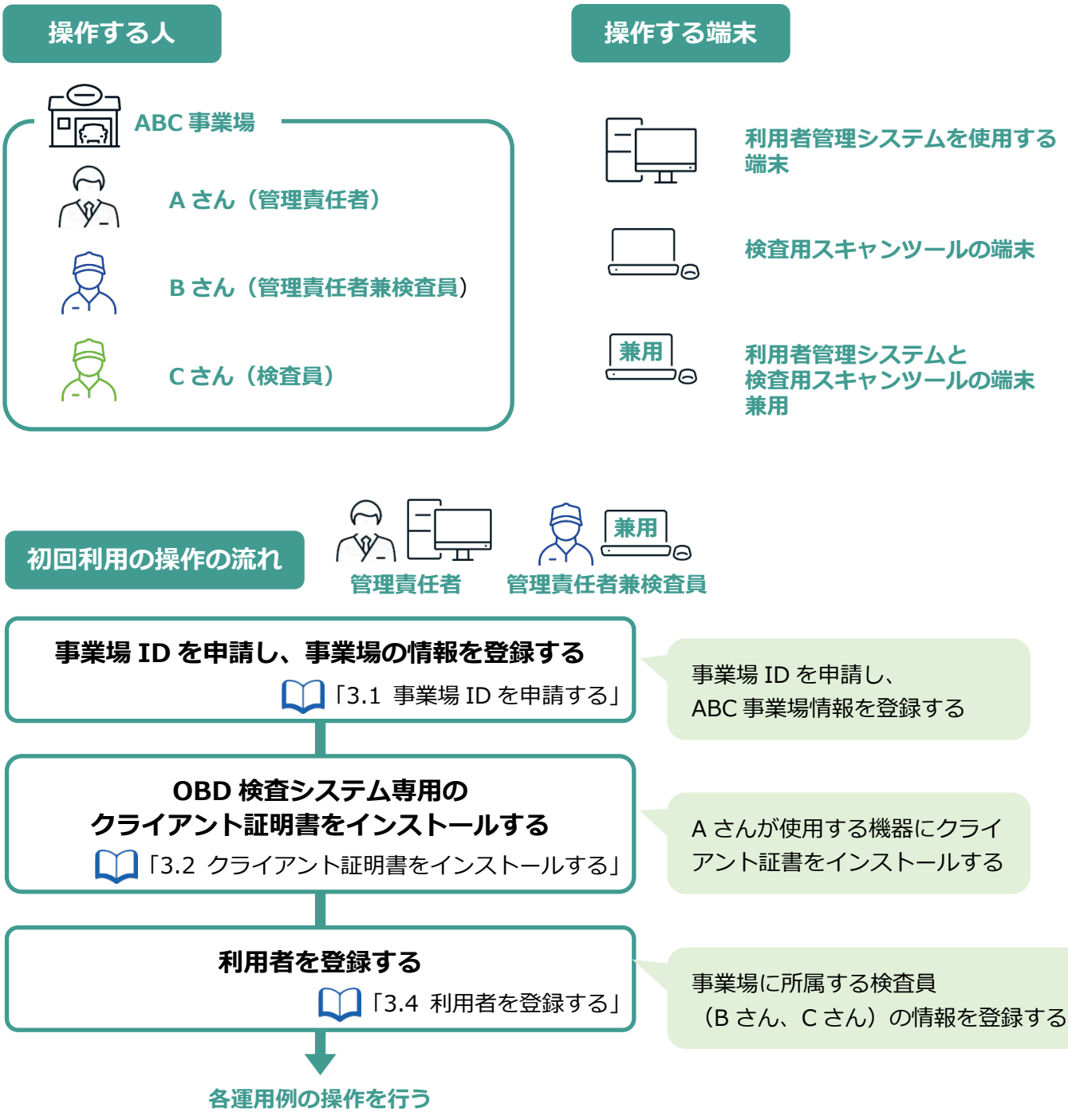
統括管理責任者がこの操作を行った場合、統括管理責任者にメールが送信されます。

送信されたメールに記載されている招待コードを利用して、クライアント証明書のインストールを行ってください。クライアント証明書のインストールについては、「3.2 クライアント証明書をインストールする」を参照してください。

# 6.6　複数のユーザーが端末を使用するとき

特定 DTC 照会アプリを使用する検査用スキャンツールの端末には、1 つの Windows アカウントにつき 1 つ、クライアント証明書が必要です。

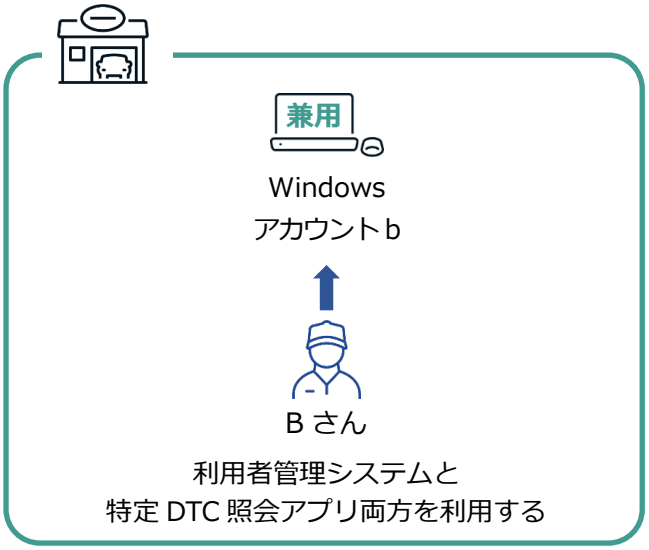
代表的な運用例について、操作を説明します。



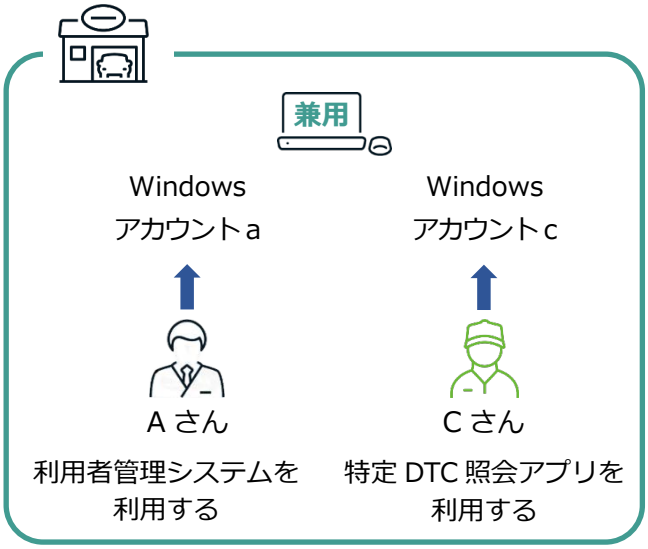

以降の運用例は、上記を前提として記載します。

## 運用例

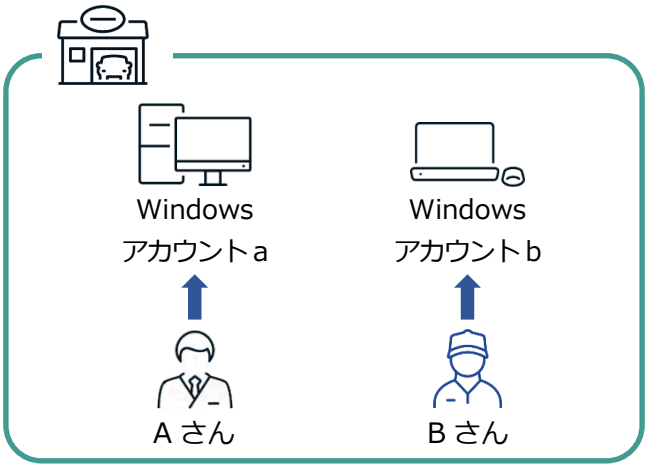
【例 1】



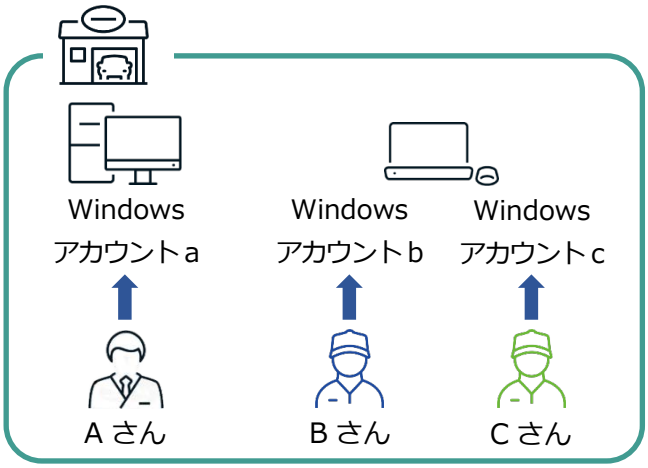

【例 2】



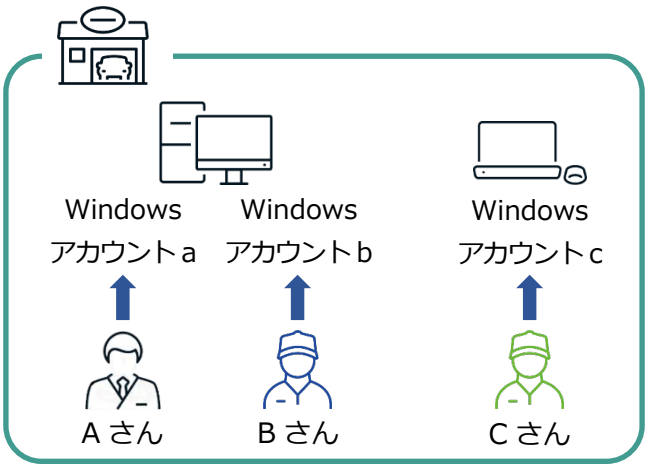

【例 3】




【例 4】

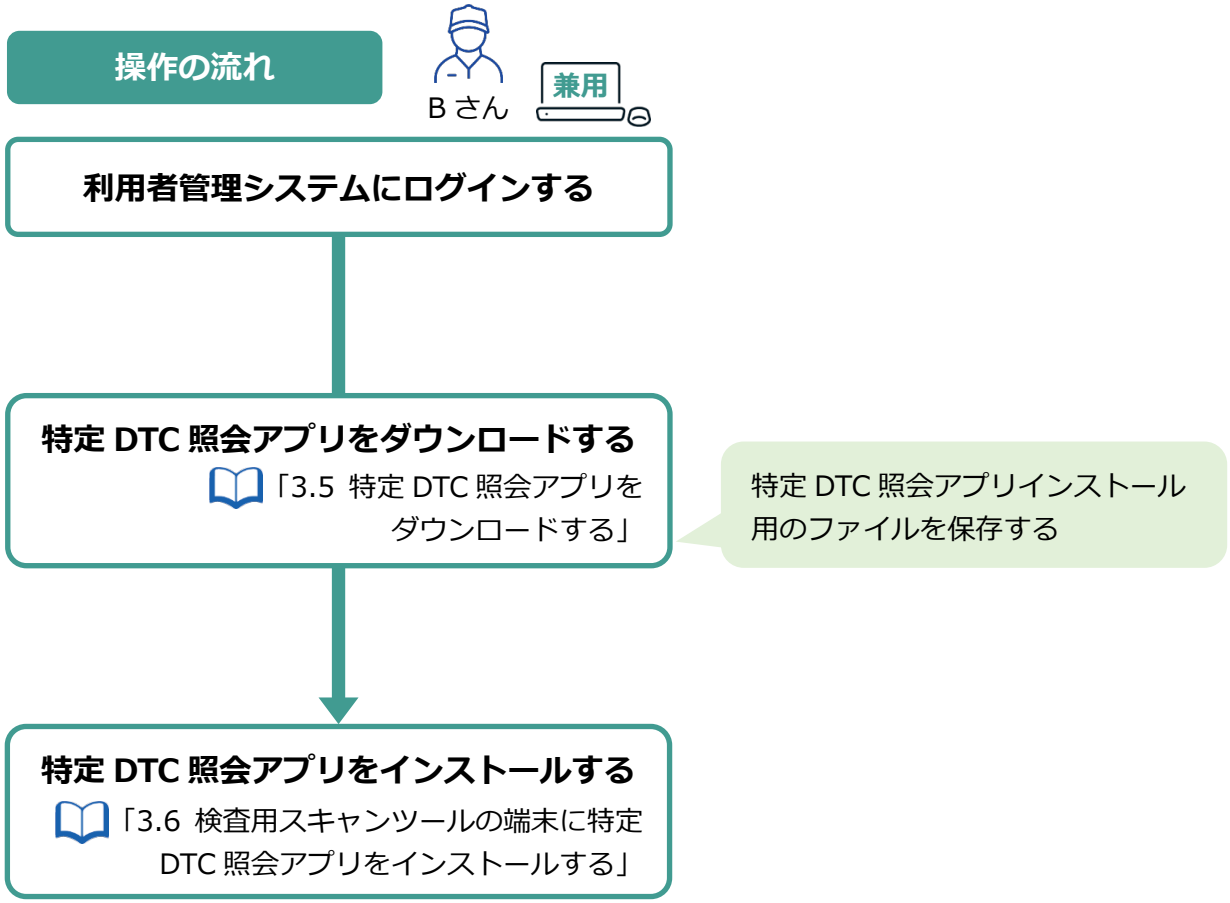



【例 5】



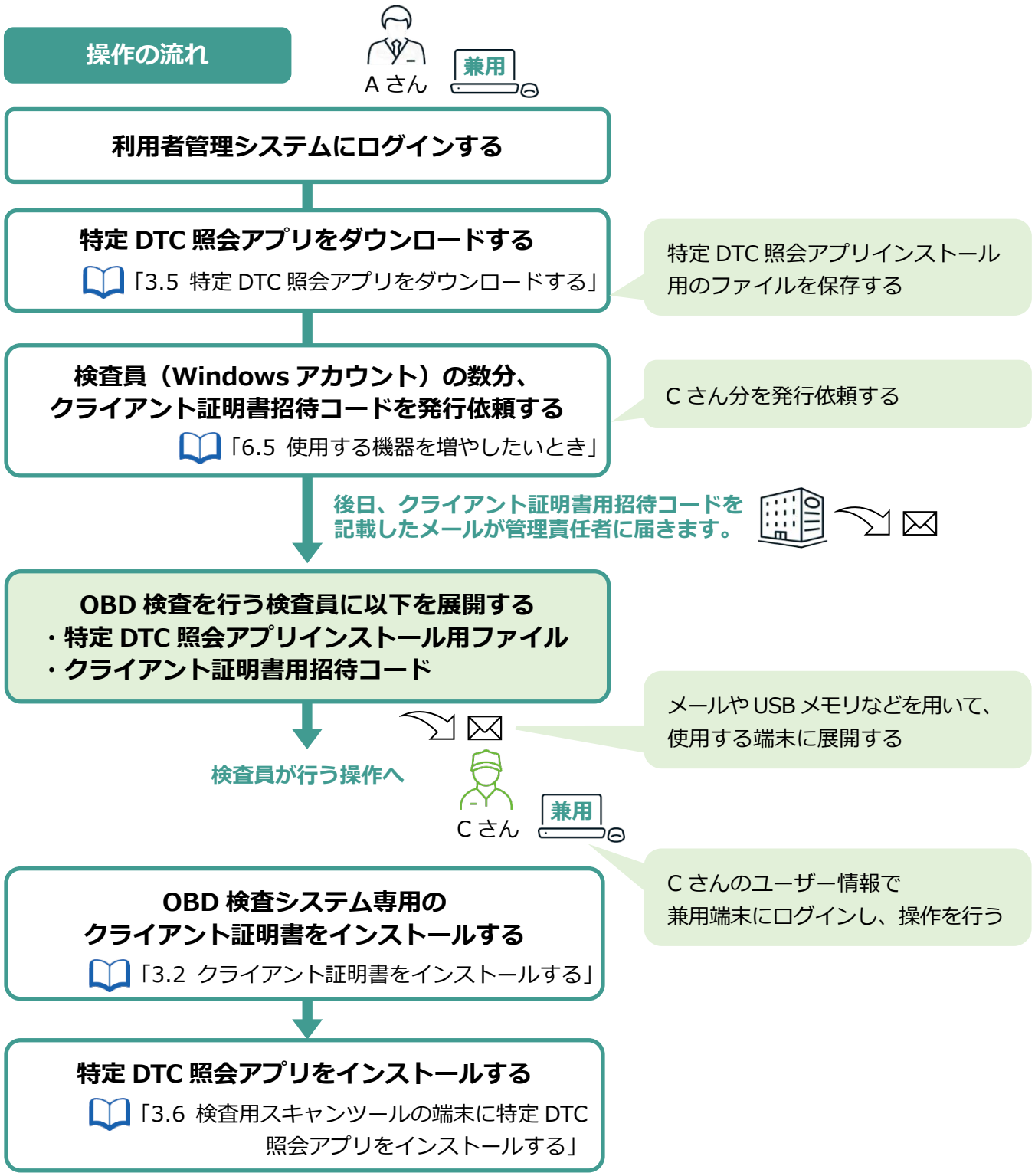
## ■【例 1】1 つの Windows アカウントで兼用端末を使用するとき

管理責任者兼検査員が利用者管理システムまたは OBD 検査結果参照システムで、特定 DTC 照会アプリのダウンロードを行います。その後、特定 DTC 照会アプリをインストールします。



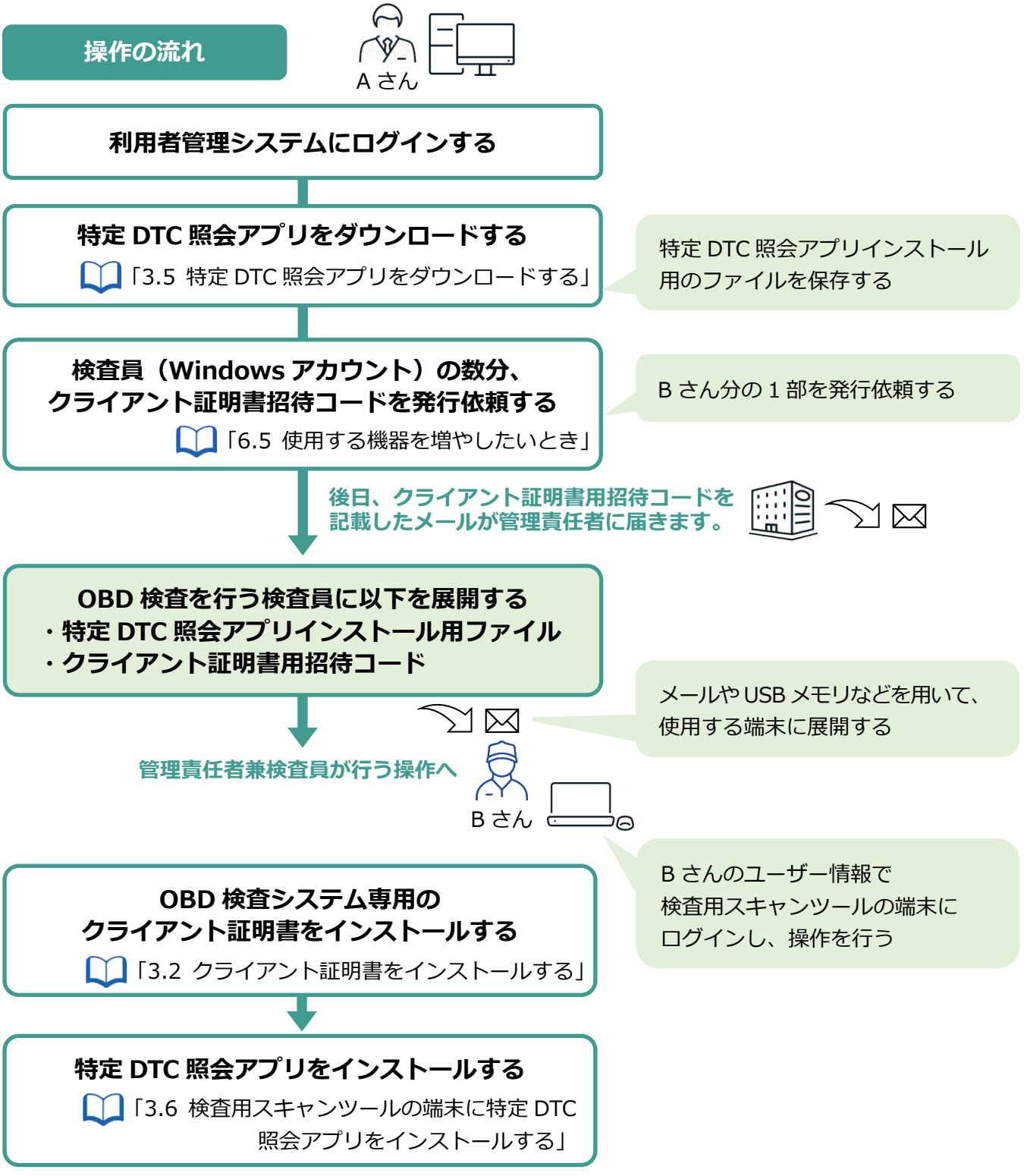
## ■ 【例 2】複数の Windows アカウントで 1 つの兼用端末を使用するとき

管理責任者が利用者管理システムでクライアント証明書の発行依頼を行います。続いて、利用者管理システムまたは OBD 検査結果参照システムにて特定 DTC 照会アプリのダウンロードを行います。その後、検査員がクライアント証明書のインストール、特定 DTC 照会アプリのインストールを行います。



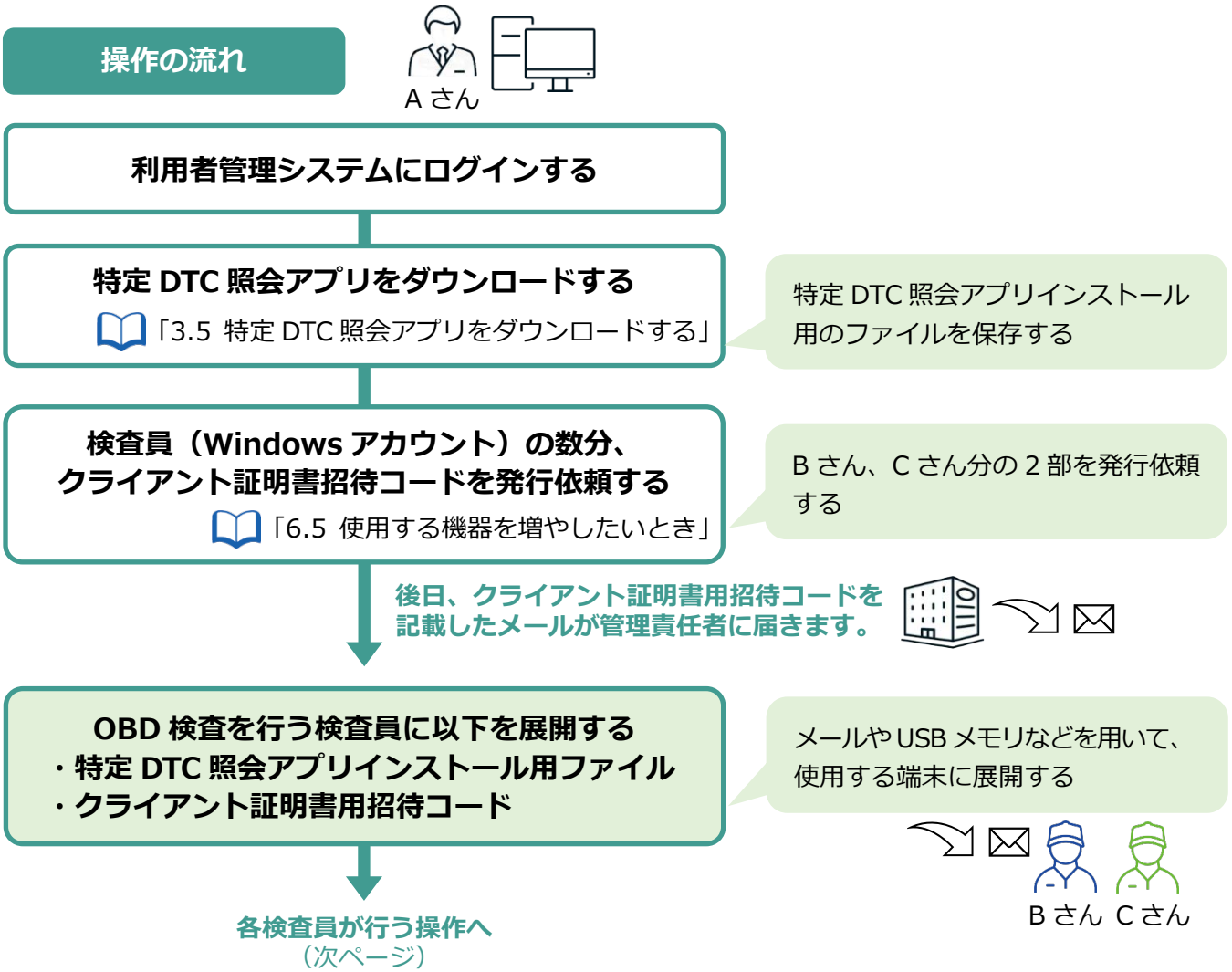
## ■ 【例 3】複数の端末でそれぞれの Windows アカウントを使用するとき

管理責任者が利用者管理システムでクライアント証明書の発行依頼を行います。続いて、利用者管理システムまたは OBD 検査結果参照システムにて特定 DTC 照会アプリのダウンロードを行います。その後、検査員がクライアント証明書のインストール、特定 DTC 照会アプリのインストールを行います。

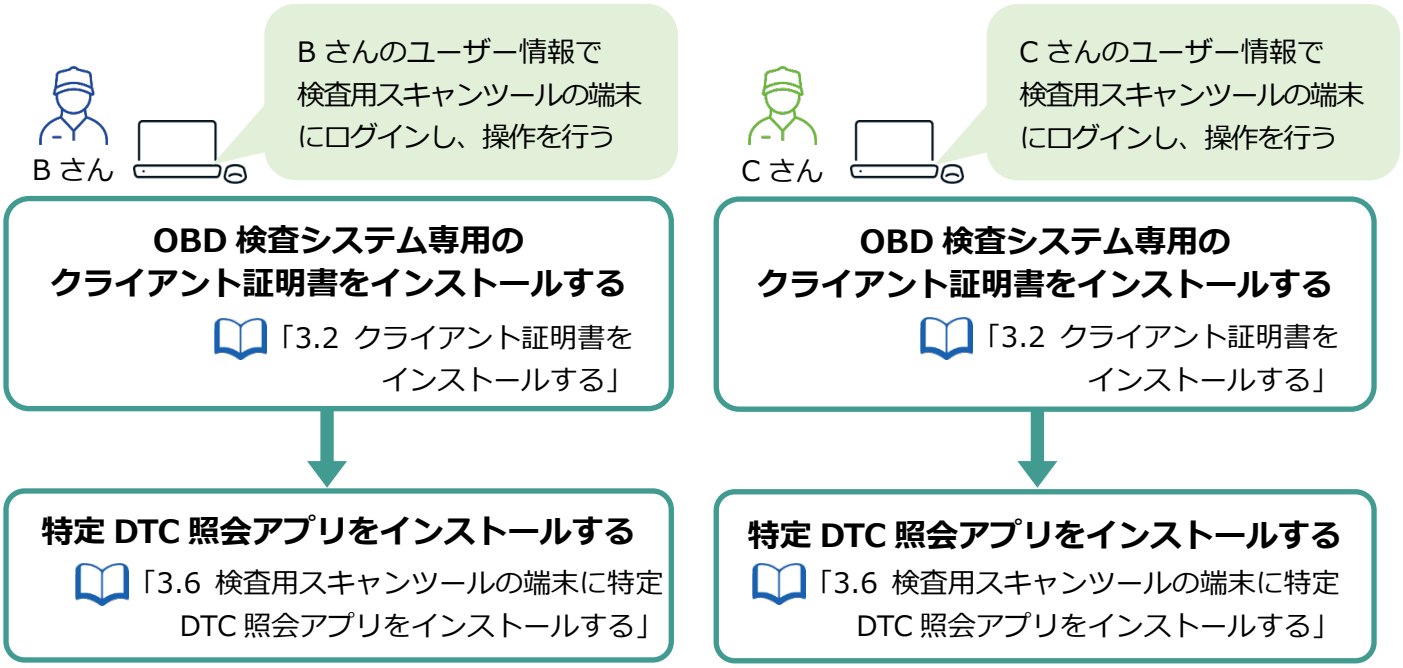


## ■【例 4】複数の Windows アカウントで検査用スキャンツールの端末を使用するとき

管理責任者が利用者管理システムでクライアント証明書の発行依頼を行います。続いて、利用者管理システムまたは OBD 検査結果参照システムにて特定 DTC 照会アプリのダウンロードを行います。その後、検査員がクライアント証明書のインストール、特定 DTC 照会アプリのインストールを行います。

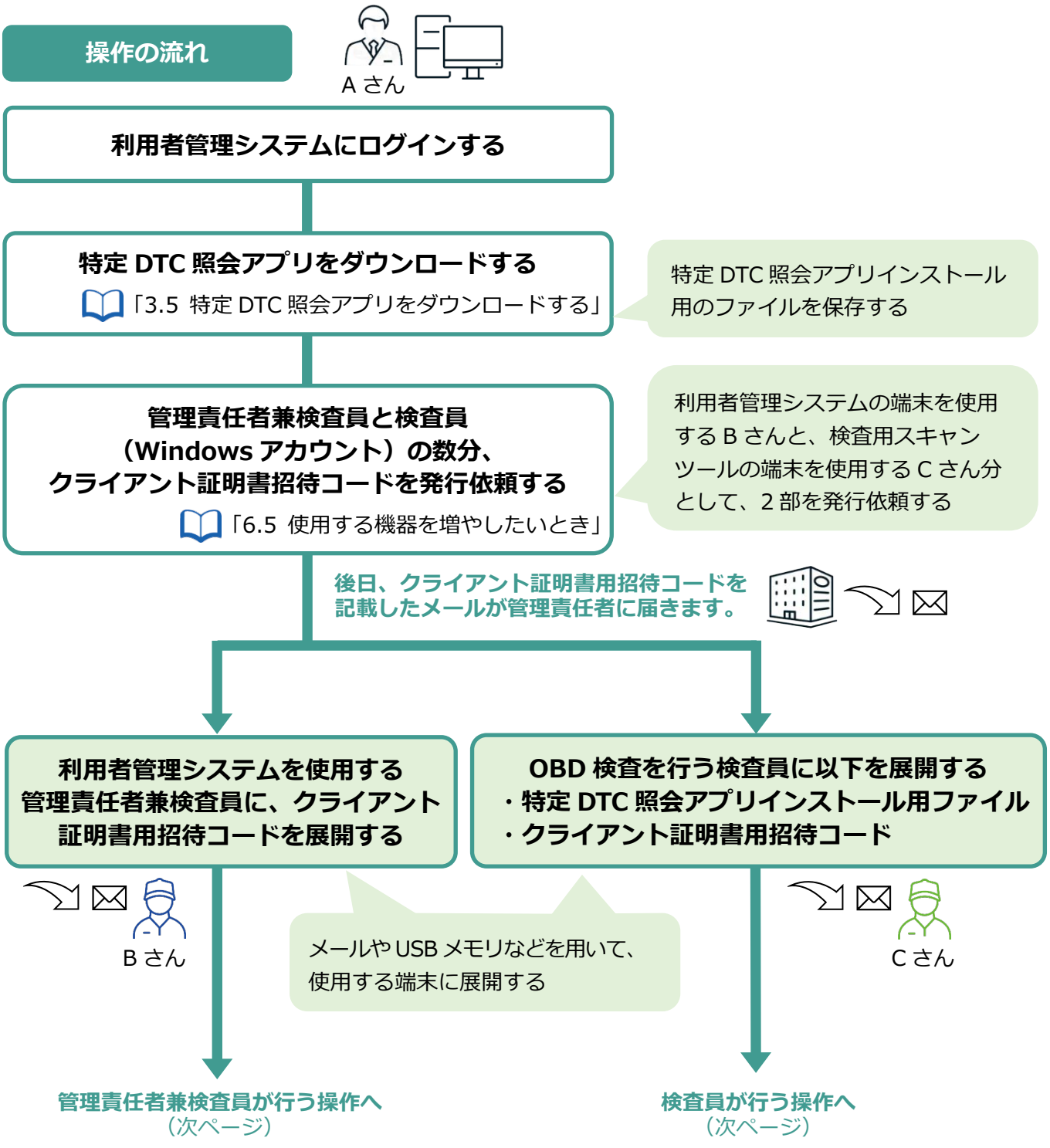


**【例 4】各検査員が行う操作**

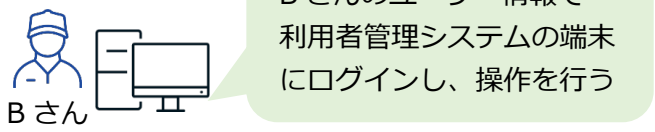


# ■【例 5】複数の Windows アカウントで利用者管理システムの端末を使用するとき

管理責任者が利用者管理システムでクライアント証明書の発行依頼を行います。続いて、利用者管理システムまたは OBD 検査結果参照システムにて特定 DTC 照会アプリのダウンロードを行います。その後、検査員がクライアント証明書のインストール、特定 DTC 照会アプリのインストールを行います。



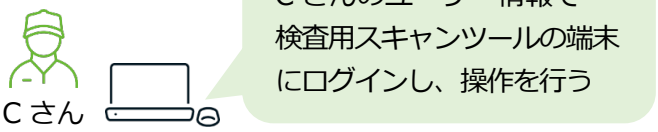
**【例 5】管理責任者兼検査員が行う操作**




**OBD 検査システム専用の**
**クライアント証明書をインストールする**

「3.2 クライアント証明書をインストールする」

**【例 5】検査員が行う操作**




**OBD 検査システム専用の**
**クライアント証明書をインストールする**

「3.2 クライアント証明書をインストールする」

**特定 DTC 照会アプリをインストールする**

「3.6 検査用スキャンツールの端末に特定 DTC 照会アプリをインストールする」

# 6.7　クライアント証明書を更新したいとき

クライアント証明書には有効期限があります。クライアント証明書の有効期限が近付くと、「お知らせ」メニューで通知されます。有効期限のお知らせが通知された場合、クライアント証明書を更新してください。
クライアント証明書の更新は、有効期限内、有効期限切れ後のどちらでも可能です。

**ご注意**

お使いの Soliton KeyManager のバージョンにより、手順が異なります。
インストールしているバージョンをご確認のうえ、以下の手順を実施してください。

- Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合（p.206）
- Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合（p.210）

## Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合

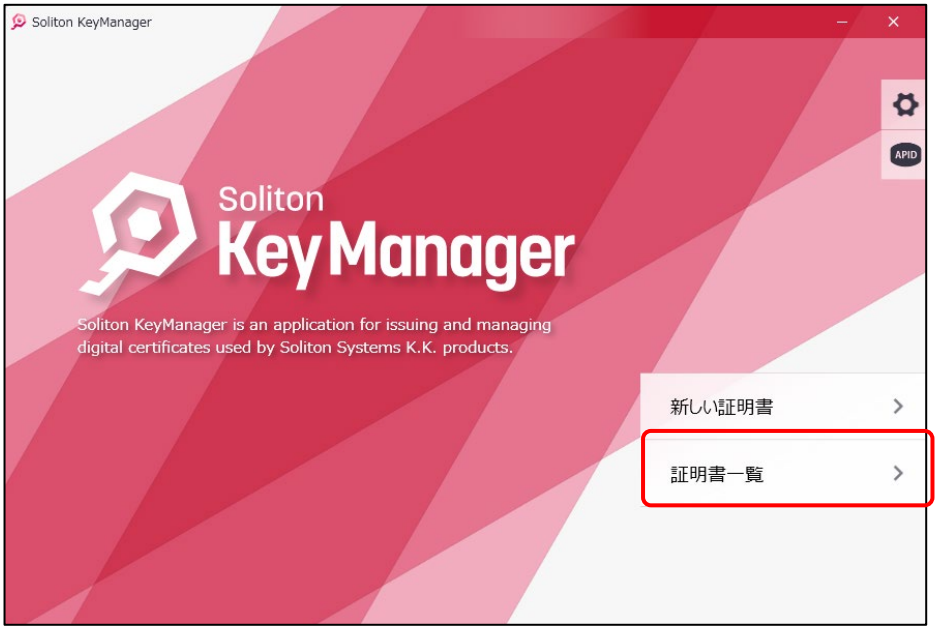
### 1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

Soliton KeyManager が起動します。

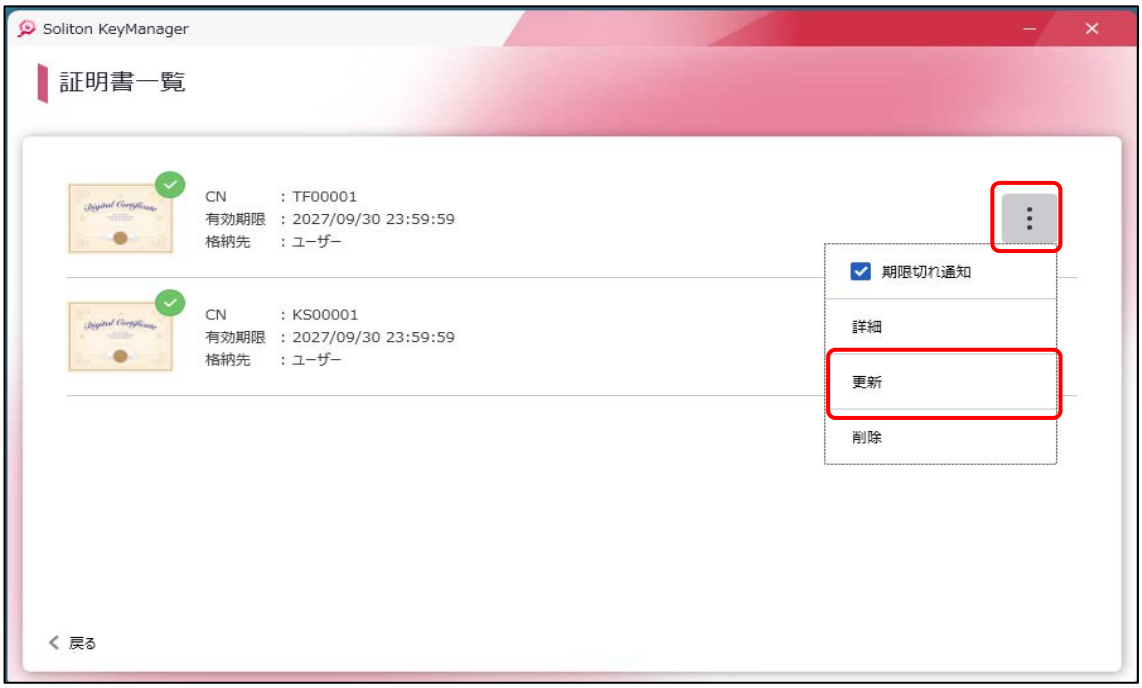
**メモ**

- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

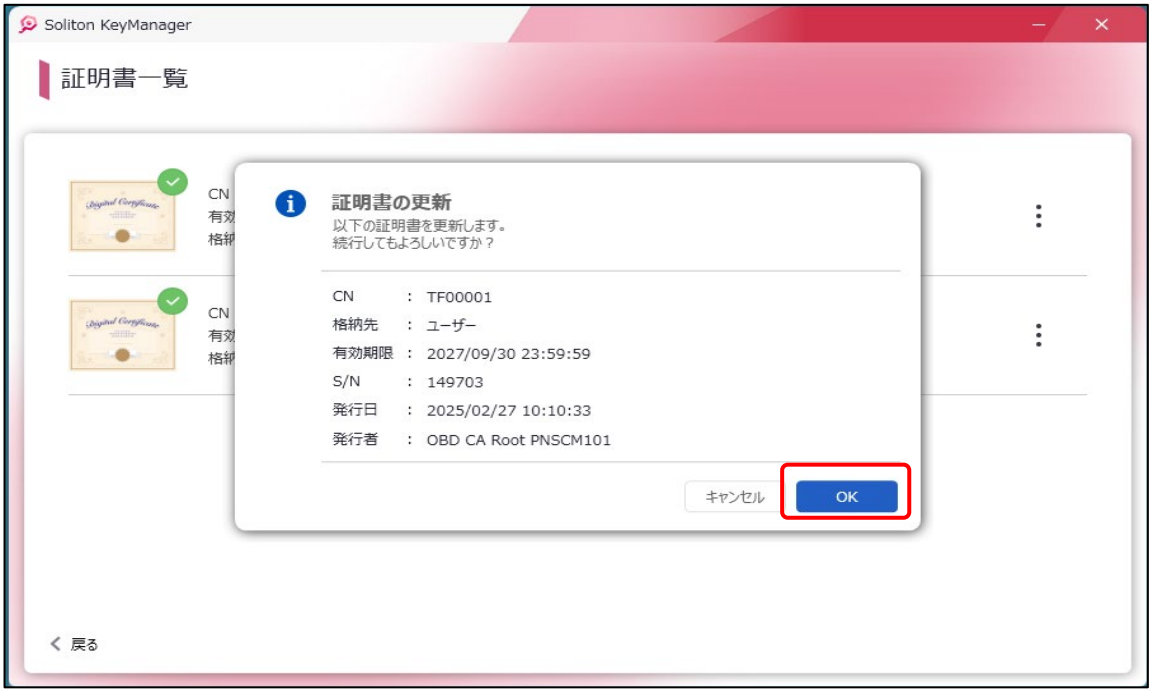
## 2.　「証明書一覧」を押す




## 3.　更新する証明書の「…」を押し「更新」を選択する



## 4. 確認画面で「OK」を押す

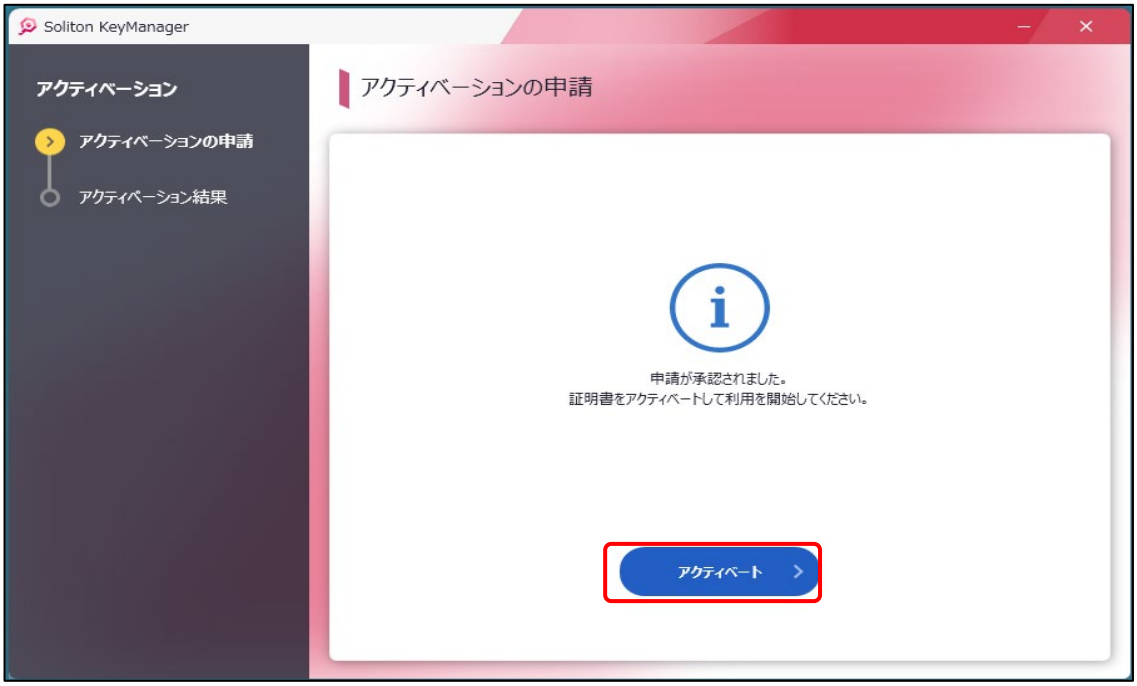



## 5. パスワードを入力し、「次へ」を押す

| 項目 | 内容 |
|---|---|
| パスワード | パスワードはユーザーID と同じです。 |

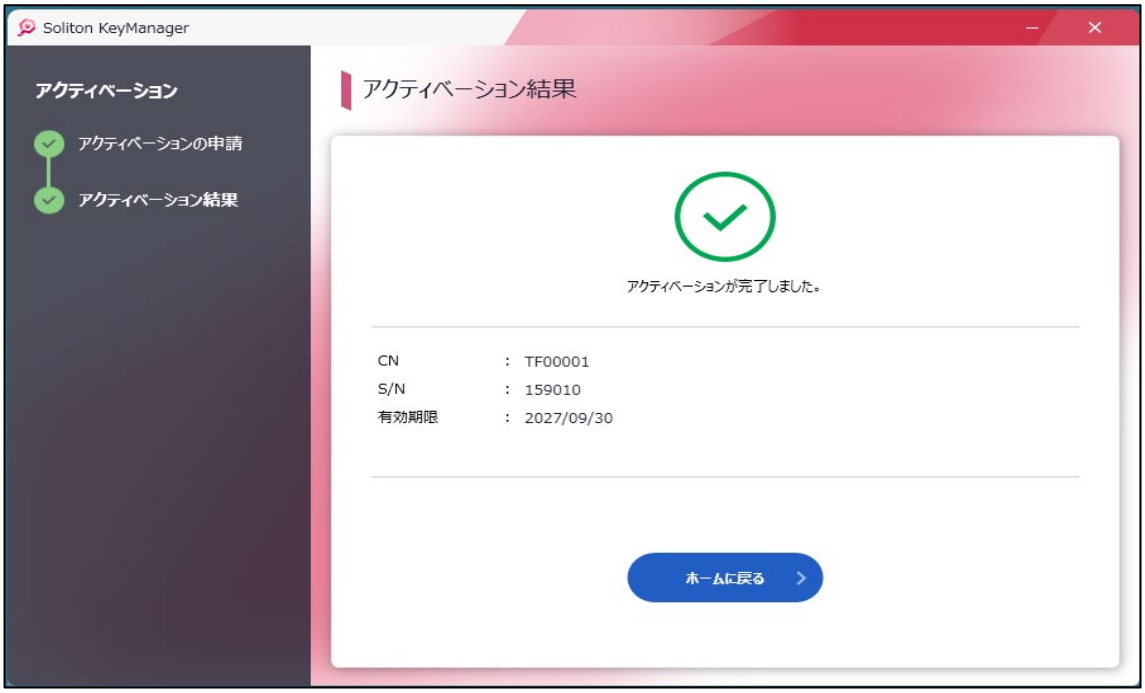
処理が完了し、画面が切り替わるまで少し待ちます。

## 6. 「アクティベート」を押す




処理が完了し、画面が切り替わるまで少し待ちます。

## 7. アクティベーション完了の画面が表示されることを確認する




「ホームに戻る」を押すと、ホーム画面に戻ります。

以上で、クライアント証明書の更新の操作は完了です。

## Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合

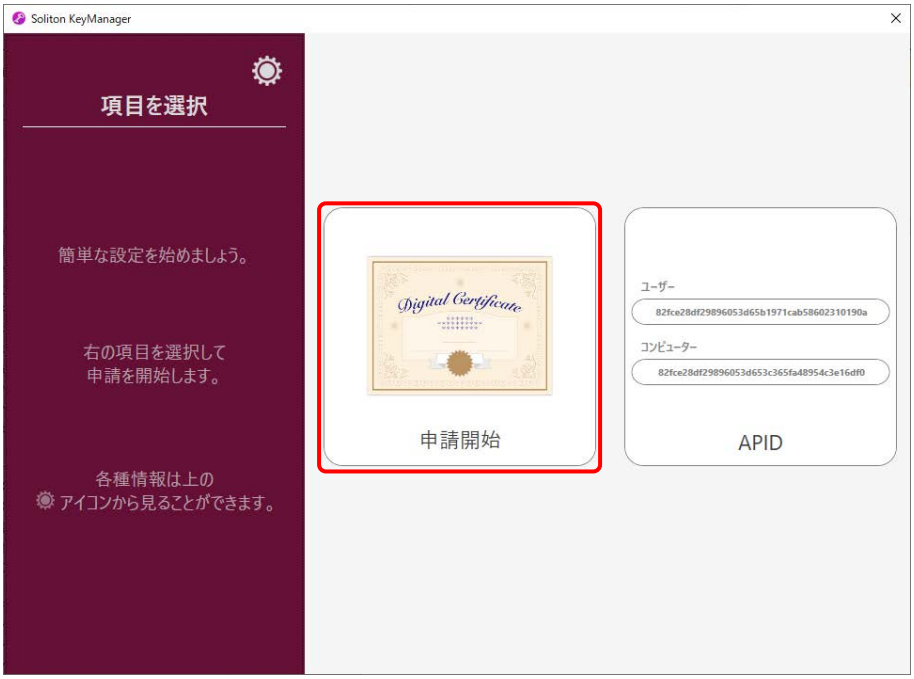
# 1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

**メモ**

- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

Soliton KeyManager が起動します。

# 2. 「申請開始」を押す



## 3. 更新する証明書の「申請」を押す

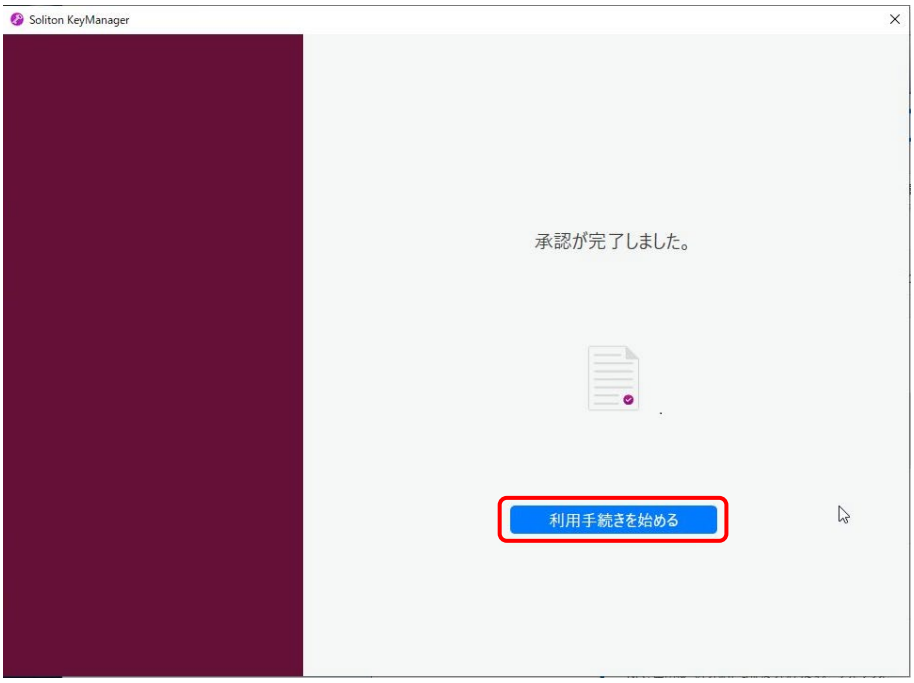
**【有効期限内の場合】**

**【有効期限切れの場合】**

## 4. パスワードを入力し、「次へ」を押す

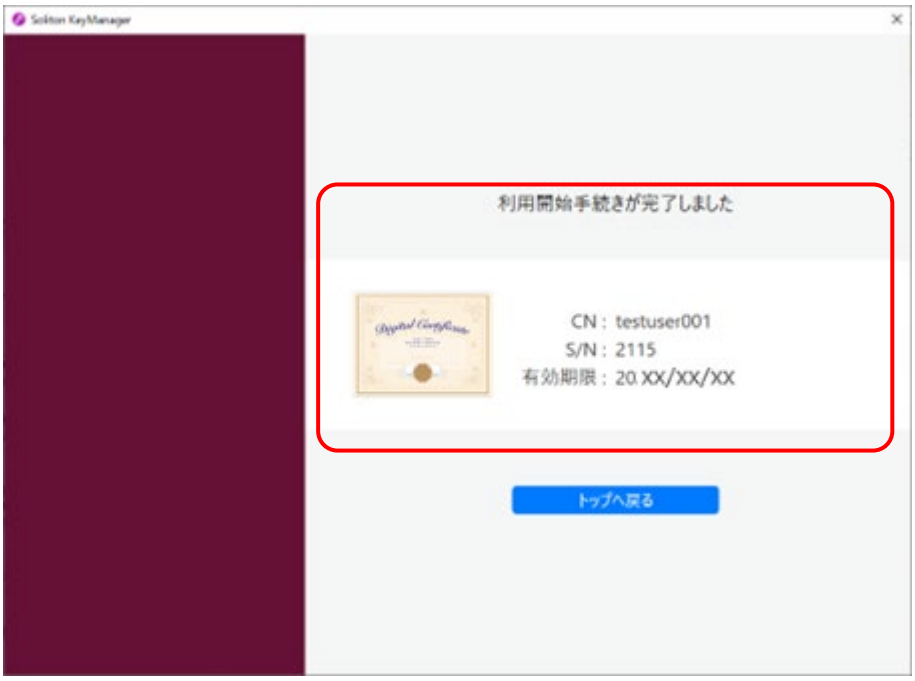
パスワード（ユーザーID と同じ）を入力します。

## 5. 「利用手続きを始める」を押す




## 6. ユーザーアカウント制御ダイアログが表示され、アプリ「NetAttest RA Client Admin Module(x86)」による変更の許可を求められた場合「はい」を押す

## 7. 手続き完了画面が表示されることを確認する




以上で、クライアント証明書の更新の操作は完了です。

# 6.8　申請を取り下げたいとき

以下の場合、統括管理責任者または管理責任者は、承認される前の申請を取り下げることができます。

- 事業場利用変更申請中
- 事業場利用停止申請中

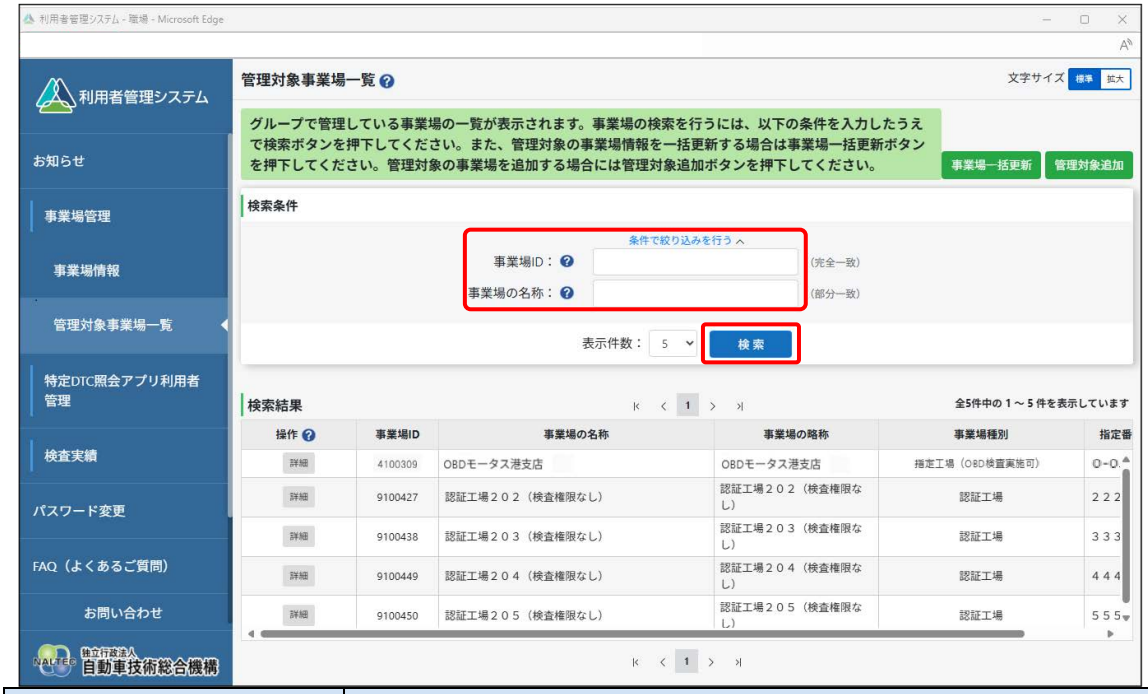
ここでは、事業場利用変更申請中に変更申請を取り下げる操作を例に説明します。

## 1. メニューの「事業場管理」を押し、表示された「管理対象事業場一覧」を押す

《管理対象事業場一覧》画面に、登録されている事業場がすべて一覧で表示されます。

## 2. 申請を取り下げる事業場を検索する

検索条件を入力し、「検索」を押します。




| 項目 | 内容 |
|---|---|
| 事業場 ID | 事業場 ID を特定して検索する場合に入力します。事業場 ID は英数字で構成される 7 桁の文字列です。 |
| 事業場の名称 | 事業場の名称を特定して検索する場合に入力します。なお、事業場の名称の一部の文字でも検索可能です。 |

検索結果が表示されます。

## 3. 申請を取り下げる事業場の「詳細」を押す

《事業場情報詳細》画面が表示されます。

## 4. 画面上部のメッセージを読んで、取り下げ可能かどうか確認する

「申請を取り下げる場合は、申請取下ボタンを押下してください。」と表示されている場合は、申請の取り下げができます。

## 5. 「申請取下」を押す

事業場情報の変更申請取り下げが完了すると、事業場利用変更申請取り下げメールが、申請を取り下げた事業場の管理責任者に送信されます。

《事業場情報申請取下完了》画面が表示されます。

**メモ**

同様の手順で各種申請の取り下げができます。

以上で、事業場利用変更申請の取り下げの操作は完了です。

# 6.9　各種申請の受付メールが受信できないとき

各種申請の受付メールが受信できない原因として、以下のような項目が考えられます。

- 入力したメールアドレスが誤っている
- インターネットに接続されていない
- メールアプリの受信設定　　など

## ■入力したメールアドレスが誤っている

入力したメールアドレスが誤っている可能性が考えられます。各種申請を再度行ってください。

## ■インターネットに接続されていない

ご利用の端末の通信環境を確認してください。

## ■メールアプリの受信設定

メールアプリの受信設定により、受信拒否、または迷惑メールフォルダーやごみ箱フォルダーへの自動移動が考えられます。メールアプリの設定を確認して、「obd-info@epti-mail.naltec.go.jp」のアドレスからのメールを受信できるようにしてください。

以上のような対応で問題が解決できない場合は、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。
詳細は、「7 お問い合わせ」を参照してください。

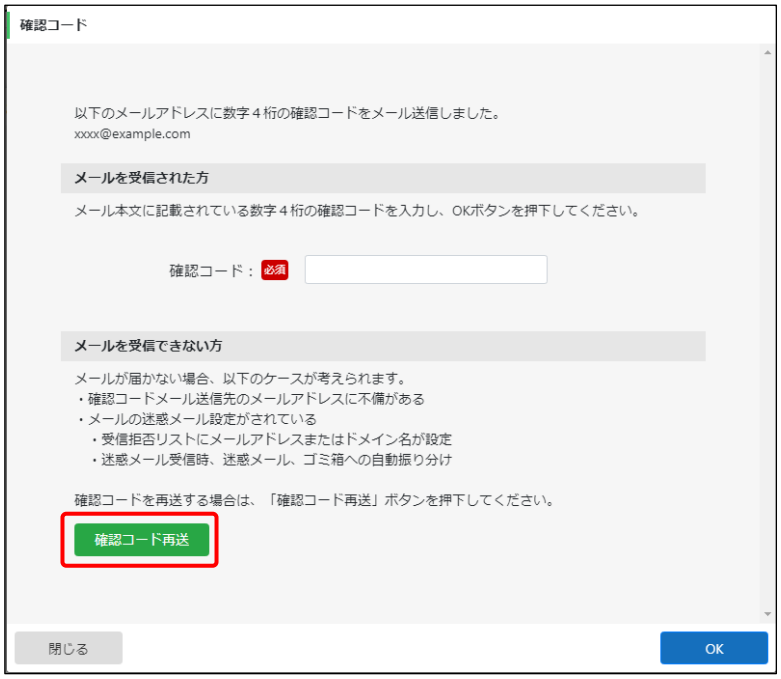
# 6.10 確認コードが記載されたメールが届かないとき

事業場 ID の申請時に、確認コードが記載されたメールが届かない場合は、《確認コード》画面の「確認コード再送」を押すと確認コードを再送付できます。

**メモ**

メールを受信できない場合は、「6.9 各種申請の受付メールが受信できないとき」を確認して対処してください。

## 1. 《確認コード》画面で「確認コード再送」を押す




確認画面が表示されます。

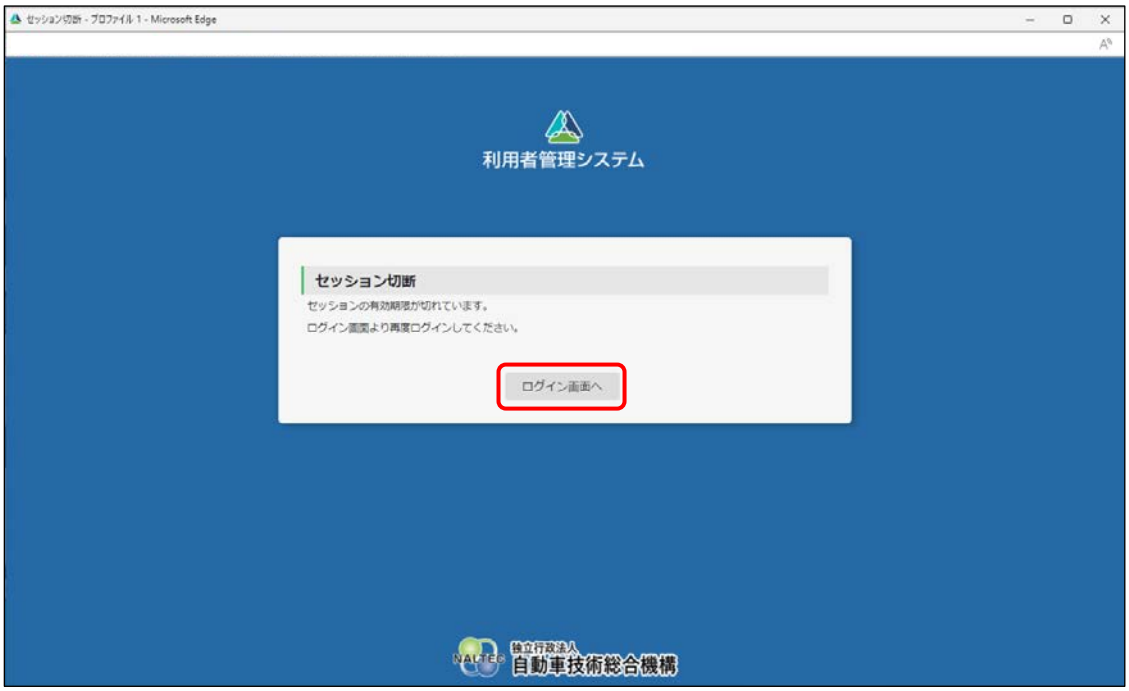
## 2. 「OK」を押す

確認コードが再送付されます。

以上で、確認コードを再送付するための操作は完了です。

# 6.11　《セッション切断》画面が表示されたとき

本システムを一定時間操作しないと、自動的にシステムからログアウトし、《セッション切断》画面が表示されます。この場合は、「ログイン画面へ」を押して、再度ログインを行ってください。




ログイン方法については、「■本システムにログインする」（P. 85）を参照してください。

# 6.12　事業場 ID を知りたいとき

事業場 ID は、所属する事業場のユーザーID から確認することができます。

ユーザーID は「事業場 ID＋アルファベット 1 文字＋連番」の構成になっているため、アルファベットより前の文字列を確認してください。

例）ユーザーID が「4299999W001」の場合、事業場 ID は「4299999」になります。

# 6.13 指定番号または認証番号の入力ルールを確認したいとき

地域によって、申請時に入力する一連番号が異なります。以下の場合ごとのルールに合わせて、一連番号を入力してください。

- 北信ブロック（認証工場）の場合
- 中国ブロック（指定工場）の場合
- 中国ブロック（認証工場）の場合
- その他のブロックの場合

## ■北信ブロック（認証工場）の場合

漢字部分が「新認証」「長認証」「石認証」「富認証」の場合は、一桁目に「９」を入力してください。

「９」と一連番号との桁数の合計が５桁に満たない場合、「９」と一連番号の間に「０」を入れて５桁としてください。

**【例】**

| 都道府県 | 認証番号 | 入力する一連番号 |
|---|---|---|
| 新潟 | **１２３４**<br>新認証第**１２３**号 | **１２３４**<br>**９０１２３** |
| 長野 | **３４５６**<br>長認証第**３４５**号 | **３４５６**<br>**９０３４５** |
| 石川 | **７８９０**<br>石認証第**７８９号** | **７８９０**<br>**９０７８９** |
| 富山 | **１２３４**<br>富認証第**１２３号** | **１２３４**<br>**９０１２３** |

## ■中国ブロック（指定工場）の場合

最後尾の「ー」の後の番号ではなく、真ん中の一連番号を入力してください。

【例】

| 都道府県 | 指定番号 | 入力する一連番号 |
|---|---|---|
| 広島 | 広１２３－３４５６７<br>広－８８８－３４７８ | １２３<br>８８８ |
| 鳥取 | 鳥－４５６－３４７８<br>鳥２２２－３４５７８ | ４５６<br>２２２ |
| 島根 | 島－７８－３４５７８ | ７８ |
| 岡山 | 岡－９９９－３４５６G | ９９９ |
| 山口 | 山－１－３４５７８ | １ |

## ■中国ブロック（認証工場）の場合

「－」前の番号を先頭とし、５桁を入力してください。５桁となるように、間に「０」を入力してください。

【例】

| 都道府県 | 認証番号 | 入力する一連番号 |
|---|---|---|
| 広島 | １H－１２３４<br>２H－　１２３ | １１２３４<br>２０１２３ |
| 鳥取 | ３T－５６７８<br>４T－　　５６ | ３５６７８<br>４００５６ |
| 島根 | ３S－　　７ | ３０００７ |
| 岡山 | １O－　　１２ | １００１２ |
| 山口 | ４Y－１２３４ | ４１２３４ |

## ■その他のブロックの場合

「－」後の番号を入力してください。

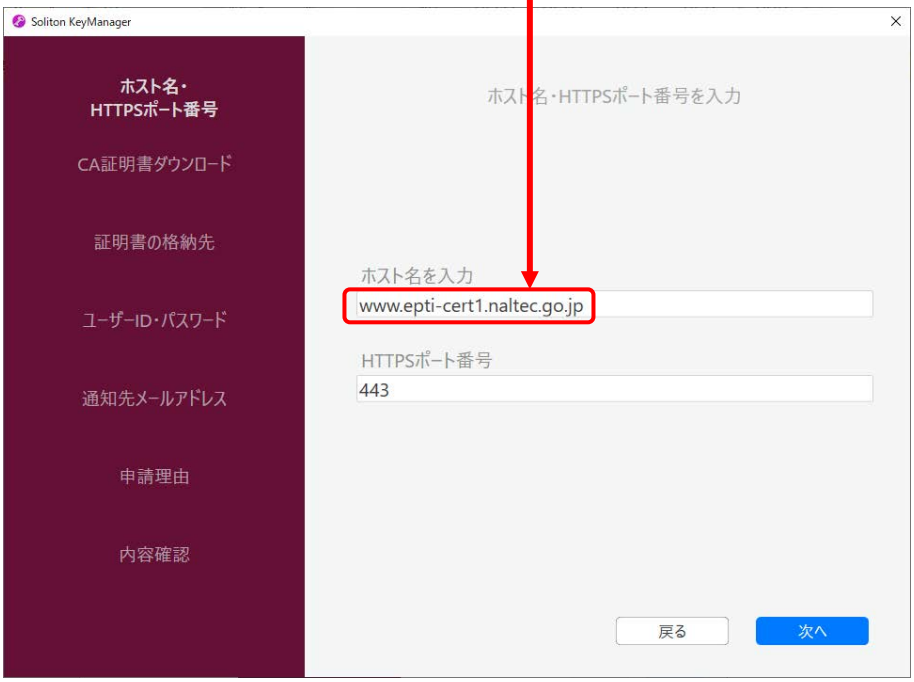
【例】

| 都道府県 | 認証番号 | 入力する一連番号 |
|---|---|---|
| 山形 | １２３４<br>５－１２３４ | １２３４<br>１２３４ |
| 大阪 | 大阪整認大第３４５号<br>近畿整認大第６７８号 | ３４５<br>６７８ |

# 6.14 受信したメールが文字化けするとき

お使いの端末の設定によって、受信したクライアント証明書用招待コードメールが文字化けする場合があります。その場合は、以下の例を参考に、「www」から「jp」までの文字列をホスト名に入力してください。

例）赤枠のみをホスト名に入力します。



# 6.15 Soliton KeyManager のインストール詳細手順を確認したいとき

「■Soliton KeyManager をインストールする」(P. 66) の手順 2.以降の詳細を説明します。Soliton KeyManager の URL がわからない場合は、上記の手順 1.を参照してください。

**ご注意**

本項での説明は一例です。お使いの環境によって、保存方法が異なる場合があります。

## 1. Soliton KeyManager の「Windows 版ダウンロードはこちら」の「+」を押して開き、「ダウンロード」を押す

## 2. Soliton KeyManager のインストーラーを保存する

### Web ブラウザが Chrome の場合

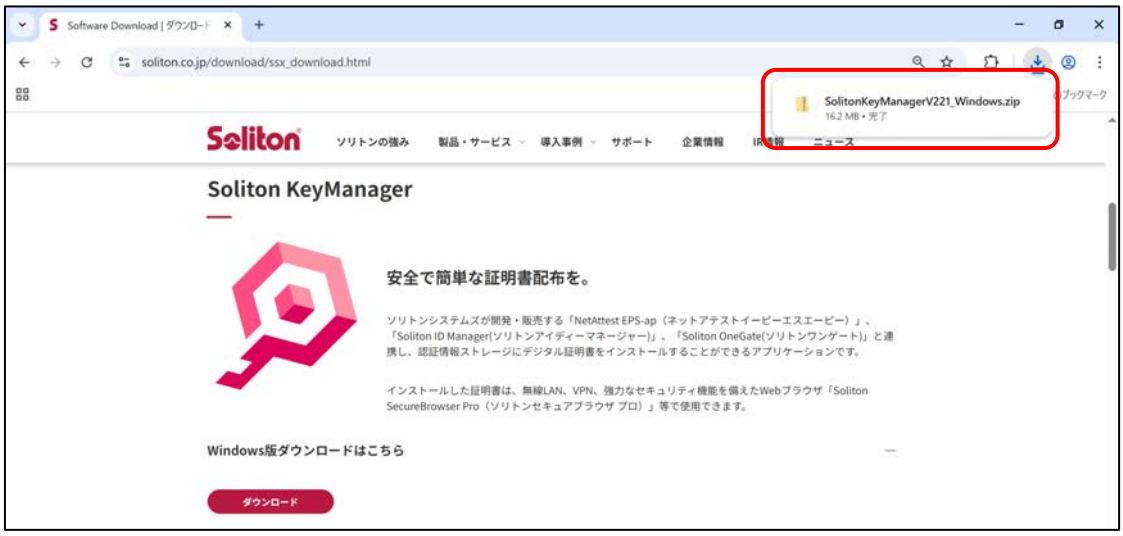
手順 2-1.に進みます。

### Web ブラウザが Microsoft Edge の場合

手順 2-2.に進みます。

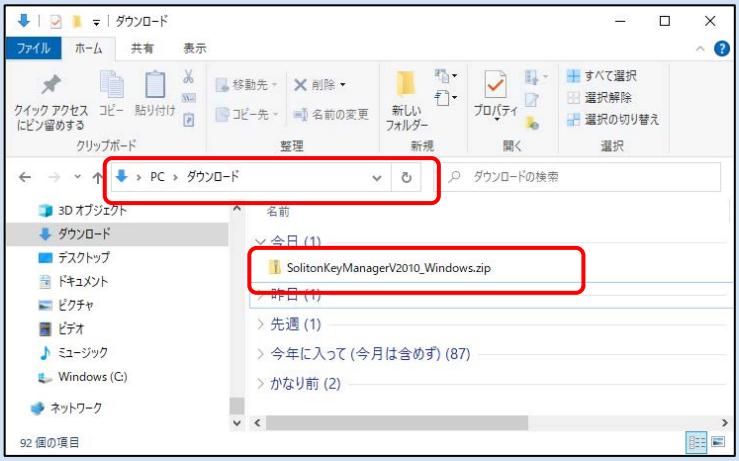
## 2-1. Web ブラウザが Chrome の場合

表示されるダイアログの右側にある、フォルダを押します。



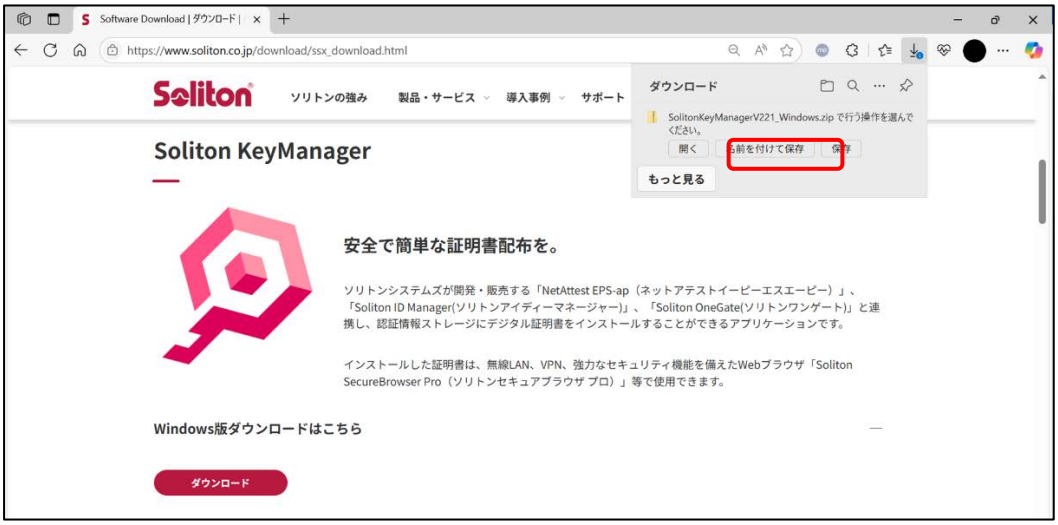

**メモ**

保存する場所は自動で「ダウンロード」が指定されます。

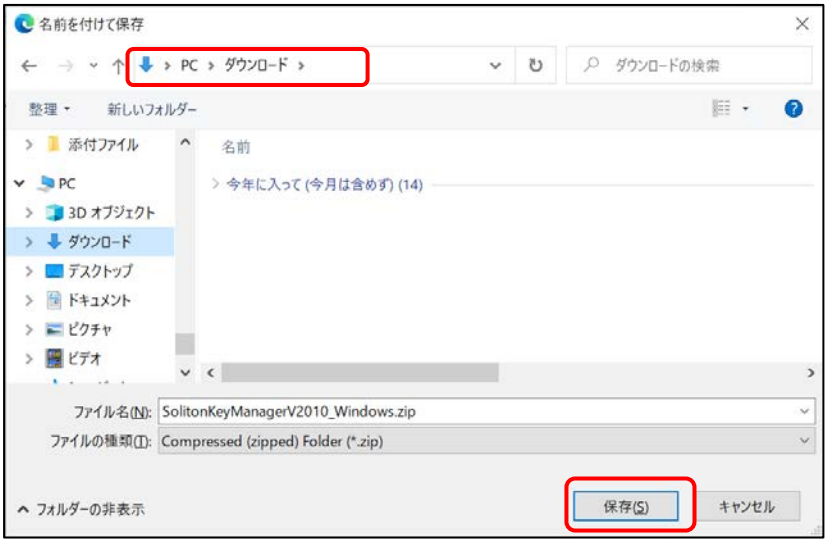


# 2-2. Web ブラウザが Microsoft Edge の場合

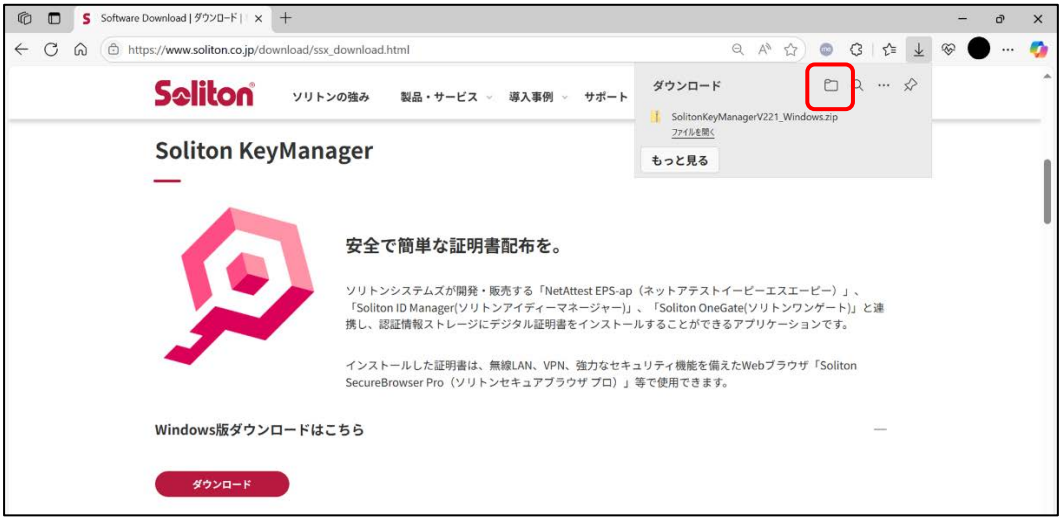
① 右上に表示されるダイアログの「名前を付けて保存」を押します。




② zip ファイルを保存する場所を選択し、「保存」を押します。

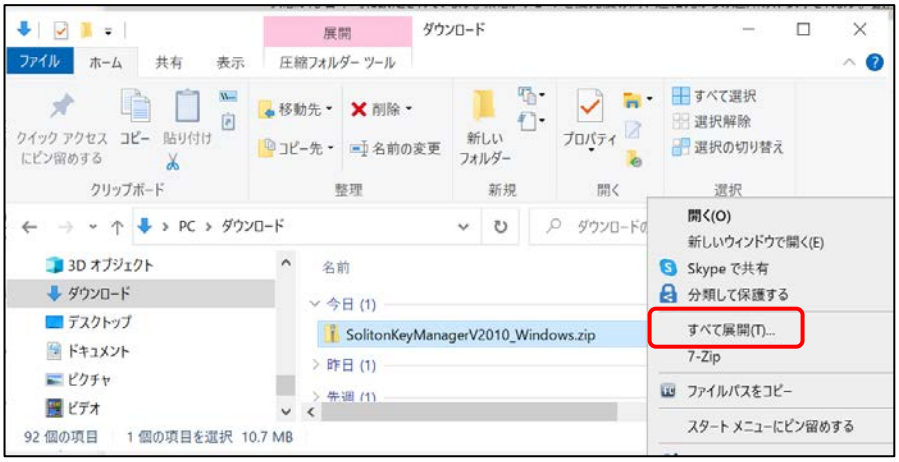



③ 表示されるダイアログの右側にある、 （フォルダーに表示）を押します。



## 3. ダウンロードした「SolitonKeyManagerVxxx_Windows.zip」を解凍する

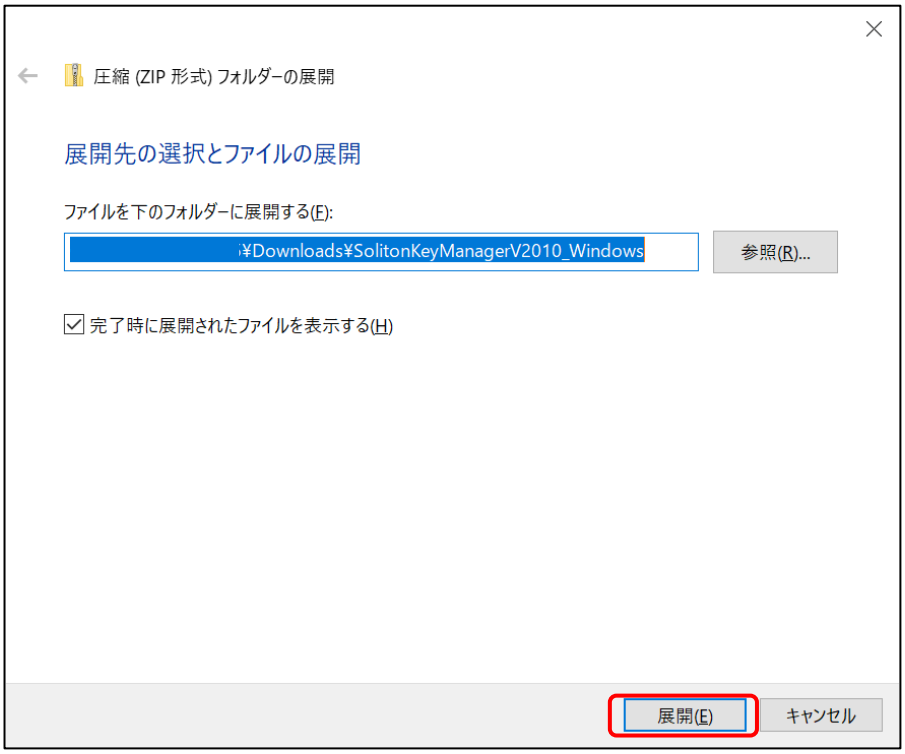
保存した場所を開き、zip ファイルを選択した状態で右クリックし、「すべて展開」を選択します。




**メモ**

Vxxx の部分は、バージョンによって変わります。

## 4. 「展開」を押す

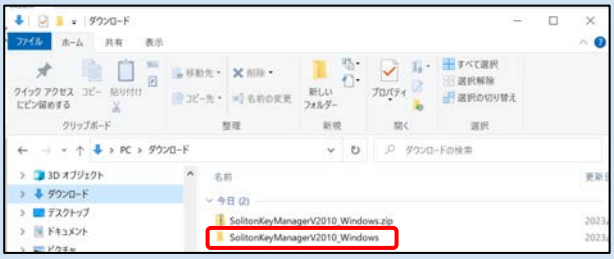



解凍したフォルダーが表示されます。

### 5. 解凍したフォルダー内の「SolitonKeyManagerVxxx.exe」を実行する

**メモ**

- zip フォルダーを保存した場所と同じ階層に、解凍したフォルダーが作成されます。




- Vxxx の部分は、バージョンによって変わります。

以降の操作方法については、「■Soliton KeyManager をインストールする」(P. 66)の手順 4.を参照してください。

## 6.16 インストールされているクライアント証明書を確認したいとき

Soliton KeyManager にて、インストールされているクライアント証明書を確認することができます。

**ご注意**

お使いの Soliton KeyManager のバージョンにより、手順が異なります。
インストールしているバージョンをご確認のうえ、以下の手順を実施してください。

- Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合（p.228）
- Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合（p.229）

## Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合

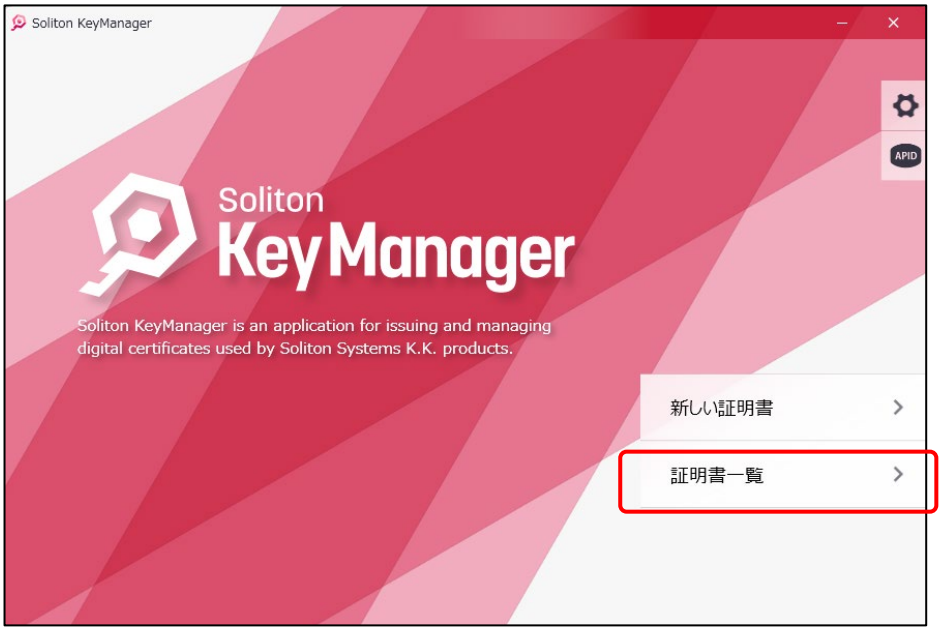
# 1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

Soliton KeyManager が起動します。

**メモ**

- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

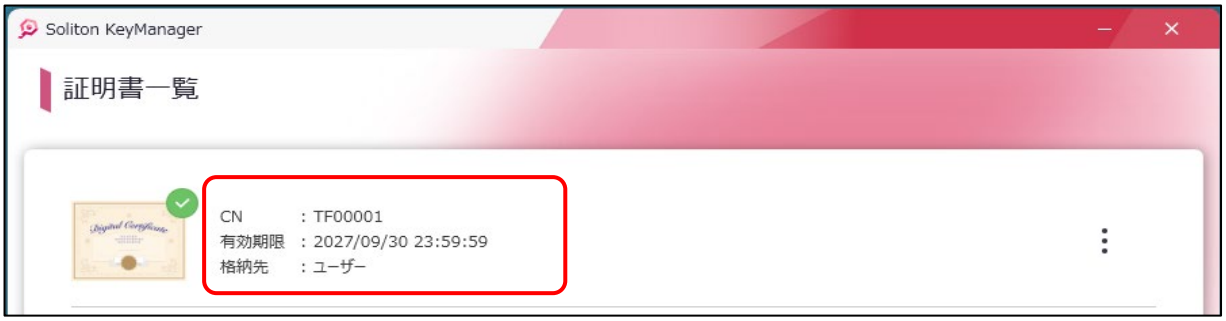
# 2. 「証明書一覧」を押す



## 3. 各項目の情報を確認する

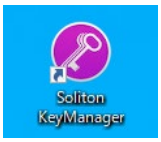
正常にインストールされている場合、各項目に以下の情報が入っています。

- 格納先：「ユーザー」
- 有効期限：「2027 年 9 月 30 日」
- CN：クライアント証明書用招待コードのメールに記載されているユーザーID と同じ文字列




### Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合

## 1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する




**メモ**

- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

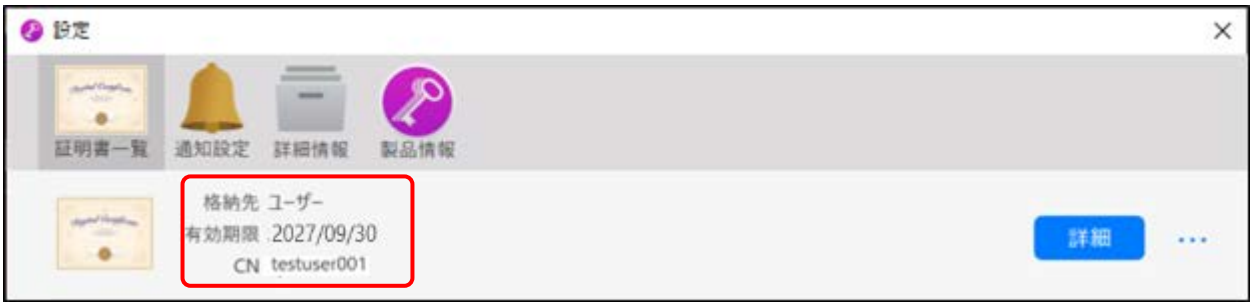
Soliton KeyManager が起動します。

## 2. Soliton KeyManager のトップ画面より、（設定ボタン）を押す

## 3. 各項目の情報を確認する

正常にインストールされている場合、各項目に以下の情報が入っています。

- 格納先：「ユーザー」
- 有効期限：「2027 年 9 月 30 日」
- CN：クライアント証明書用招待コードのメールに記載されているユーザーID と同じ文字列



# 6.17 クライアント証明書をアンインストールしたいとき

クライアント証明書が不要となった場合は、アンインストールを実施します。

また、誤った操作でクライアント証明書のインストールを完了させた場合は、クライアント証明書をアンインストールしたのち、再度インストールする必要があります。

**ご注意**

お使いの Soliton KeyManager のバージョンにより、手順が異なります。
インストールしているバージョンをご確認のうえ、以下の手順を実施してください。

- Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合（p.231）
- Soliton KeyManager が V2.0.X 以前の場合（p.234）

## Soliton KeyManager が V2.2.0 以降の場合

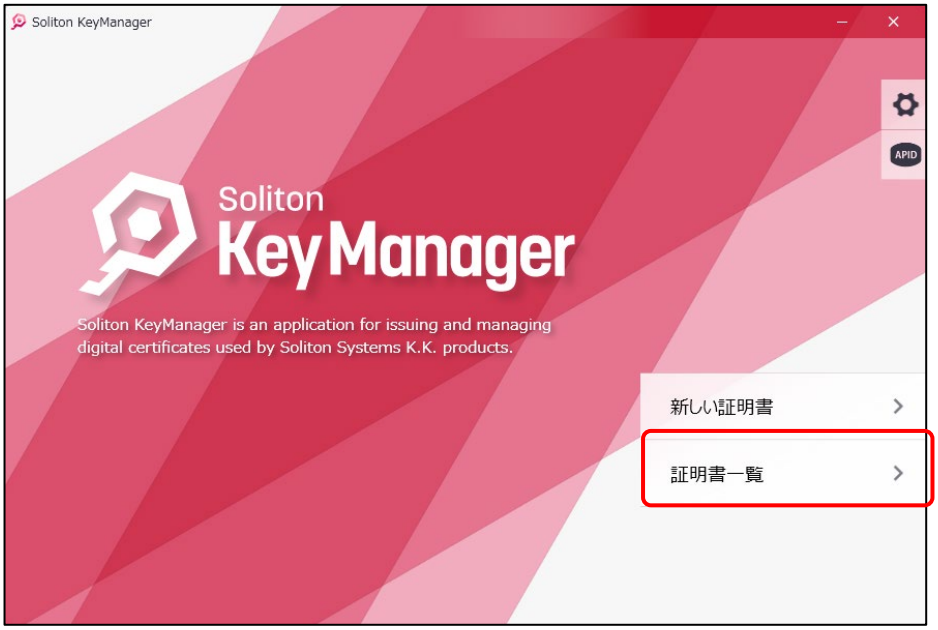
### 1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する

Soliton KeyManager が起動します。

**メモ**

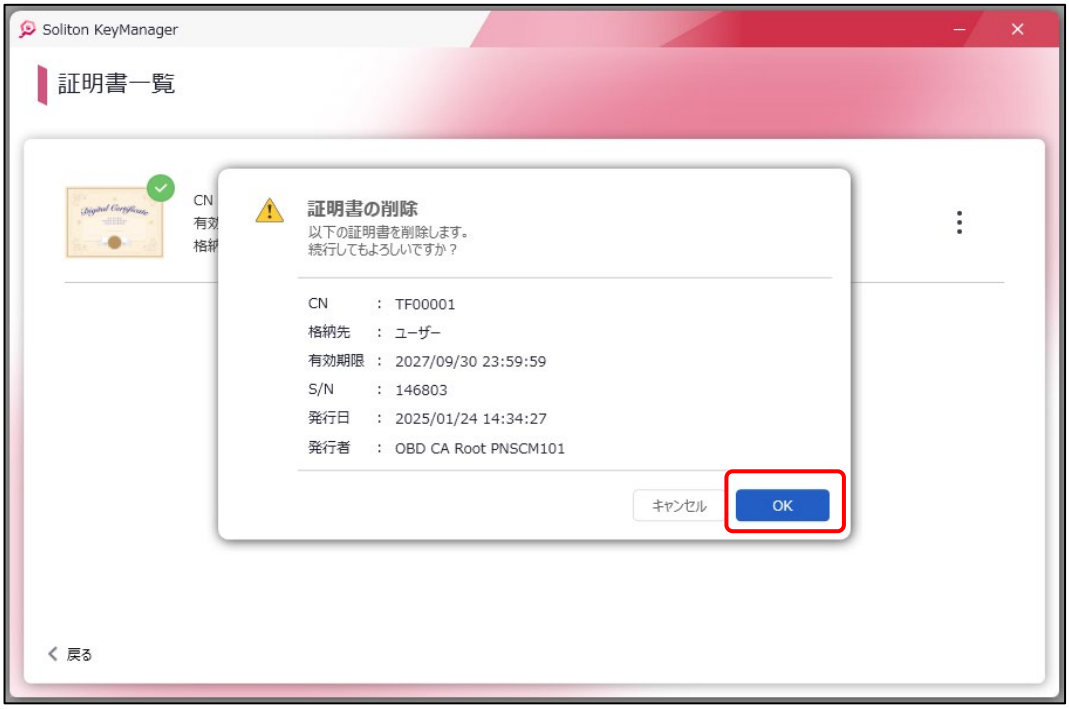
- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

## 2.　「証明書一覧」を押す




## 3.　更新する証明書の「…」を押し「削除」を選択する

## 4. 確認画面で「OK」を押す



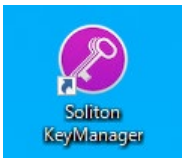

## 5. 削除完了の画面が表示されることを確認する

**ご注意**

- 一度使用したクライアント証明書用招待コードは再度使用することができません。クライアント証明書を再度インストールする場合は、新しいクライアント証明書用招待コードを再発行する必要がありますので、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。
- クライアント証明書のインストールの詳細については、「■クライアント証明書をインストールする」（P. 71）を参照してください。

## Soliton KeyManager が V2.2. X 以前の場合

### 1. デスクトップの「Soliton KeyManager」アイコンを実行する




**メモ**

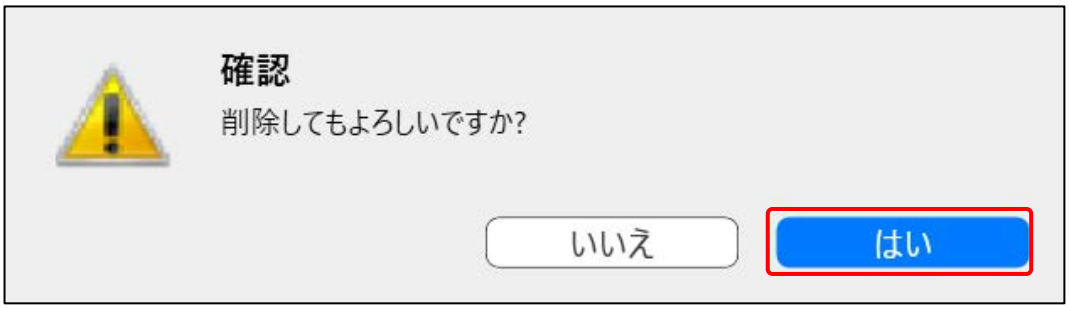
- アイコンを実行する操作については、お使いの端末の設定に従ってください。
  例）PC の場合、アイコンをダブルクリックします。
- アイコンが見つからない場合は、PC または Windows タブレットの検索欄に「Soliton KeyManager」と入力して、検索結果に表示された「Soliton KeyManager」アプリを実行します。

Soliton KeyManager が起動します。

### 2. Soliton KeyManager のトップ画面より、 （設定ボタン）を押す

## 3. 削除するクライアント証明書の右側にある「…」を押し、「削除」を押す

## 4. 確認画面が表示されたのち、「はい」を押す




**ご注意**

- 一度使用したクライアント証明書用招待コードは再度使用することができません。クライアント証明書を再度インストールする場合は、新しいクライアント証明書用招待コードを再発行する必要がありますので、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。
- クライアント証明書のインストールの詳細については、「■クライアント証明書をインストールする」（P. 71）を参照してください。

# 6.18 OBD 検査システムから送付されるメールの種別を確認したいとき

申請の操作ごとに、メールの種類、送付先が異なります。

各申請後にどのメールが届くべきかを確認したいときは、以下を確認してください。

## ■事業場 ID 申請をしたときのメール送付先

| 申請種別 | 操作者 | メール送付先 | | |
|---|---|---|---|---|
| | | 申請受付メール | 申請結果メール | クライアント証明書用招待コードメール |
| | | 即時(※) | 承認後(※) | 承認後(※) |
| 個別申請 | 管理責任者 | 管理責任者 | 管理責任者 | 管理責任者 |
| グループ申請<br>（拠点が事業場） | 統括管理責任者 | 統括管理責任者<br>管理責任者 | 統括管理責任者<br>管理責任者 | 統括管理責任者 |
| グループ申請<br>（拠点が事業場でない） | 統括管理責任者 | 統括管理責任者 | 統括管理責任者 | 統括管理責任者 |

※メールの受領タイミングはメールの種類によって異なります。

## ■事業場変更申請をしたときのメール送付先

| 事業場種別 | 操作者 | 運用管理センターによる確認 | メール送付先 | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 申請受付メール | 申請結果メール |
| グループ所属なし | 管理責任者 | あり | 管理責任者 | 管理責任者 |
| | | なし | — | 管理責任者 |
| グループ所属あり | 統括管理責任者 | あり | 統括管理責任者<br>管理責任者 | 統括管理責任者<br>管理責任者 |
| | | なし | — | 統括管理責任者<br>管理責任者 |
| | 管理責任者 | あり | 統括管理責任者<br>管理責任者 | 統括管理責任者<br>管理責任者 |
| | | なし | — | 統括管理責任者<br>管理責任者 |

# 6.19 エラーメッセージが表示されたとき

エラーメッセージが画面に表示された場合、以下のような原因が考えられます。

- 利用可能な文字以外の文字を入力している
- 添付ファイルが許容数を超えて添付されている
- 添付ファイルの合計容量が許容値を超えている

※実際の画面とは異なる場合があります。

## ■利用可能な文字以外の文字を入力している

「¥(バックスラッシュ)」等の利用できない文字が入力されている可能性が考えられます。利用可能な文字のみとなるよう、再度入力し直してください。

## ■添付ファイルが許容数を超えて添付されている

事業場一括申請用 CSV ファイルのデータ件数の上限は 300 件を目安としてください。それ以上の件数となる場合は、複数ファイルに分割してください。

## ■添付ファイルの合計容量が許容値を超えている

添付ファイルの合計サイズ上限は 100MB を目安としてください。それ以上のサイズである場合は、ファイルサイズを小さくしてください。

以上のような対応で問題が解決できない場合は、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

# 6.20 クライアント証明書のインストール時にエラーとなったとき

お使いの環境によって、クライアント証明書のインストール時に「証明書要求に失敗しました」というエラーが表示される場合があります。この場合は、以下をご対応ください。

## ■お使いの端末が動作環境を満たしているか確認

「1.4 ご利用の前に」を参照し、動作環境を満たしているか確認してください。

## ■「クライアント証明書のインストールがうまくいかない場合の対処」を対応

対処方法については、OBD 検査ポータルの FAQ を確認してください。

**メモ**

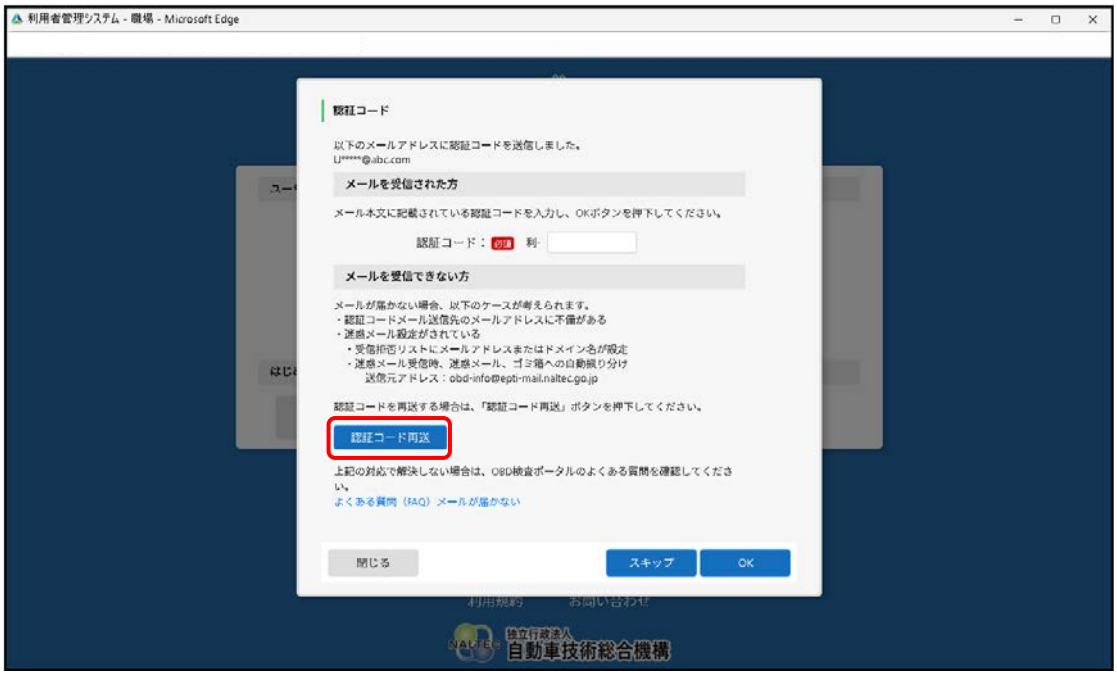
《OBD 検査ポータル》
よくある質問・お問い合わせ / よくある質問（FAQ）　インストールができない
https://www.obd.naltec.go.jp/faq/install/

以上のような対応で問題が解決できない場合は、OBD 検査コールセンターにお問い合わせください。

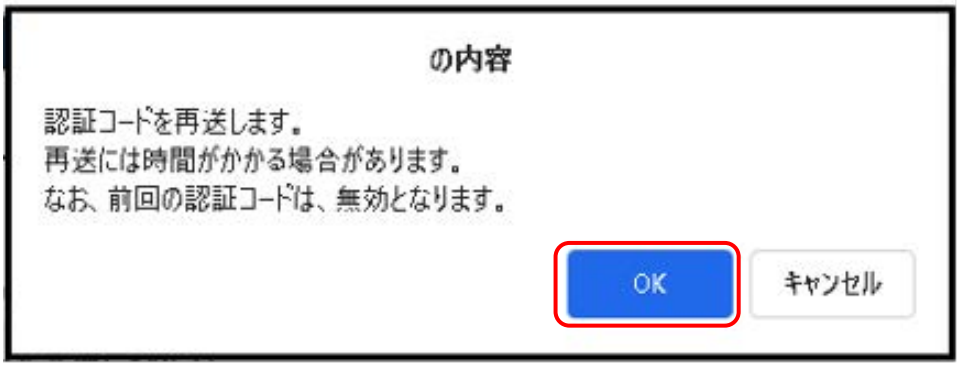
# 6.21 認証コードが届かないとき

しばらく経っても認証コード送信メールが届かない、もしくは認証コードの有効期限が切れた場合、認証コードを再送してください。

## 1. 「認証コード再送」を押す




## 2. 「OK」を押す




《認証コード入力》画面に戻ります。

**ご注意**

上記の方法で問題が解決できない場合は、OBD 検査ポータルのよくある質問を確認してください。